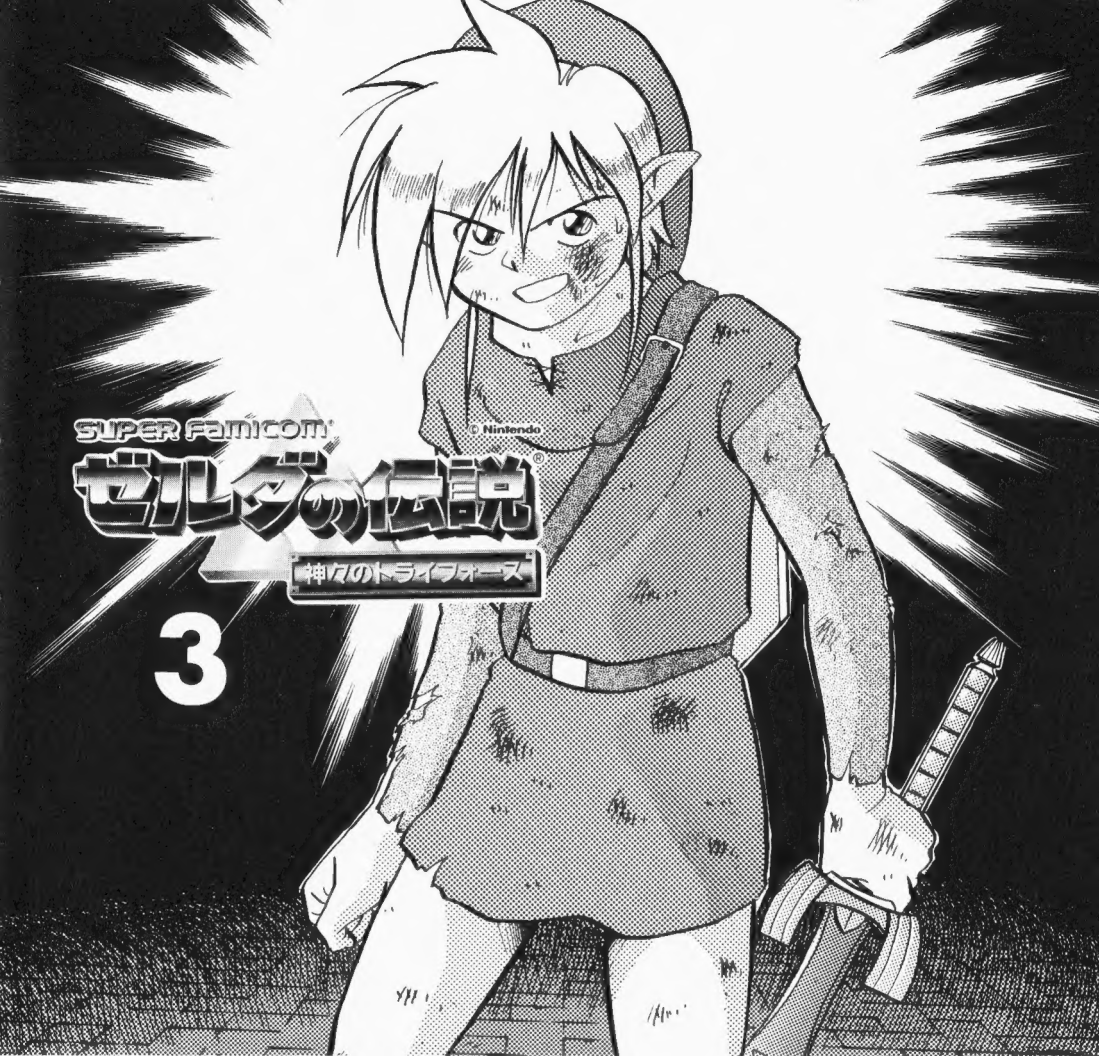
SUPER Famicom®
© Nintendo
ゼルダの伝説®
神々のトライフォース
3
かぢばあたる

SUPER Famicom®

ゼルダの伝説®

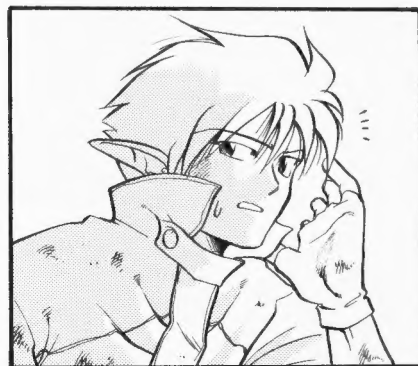
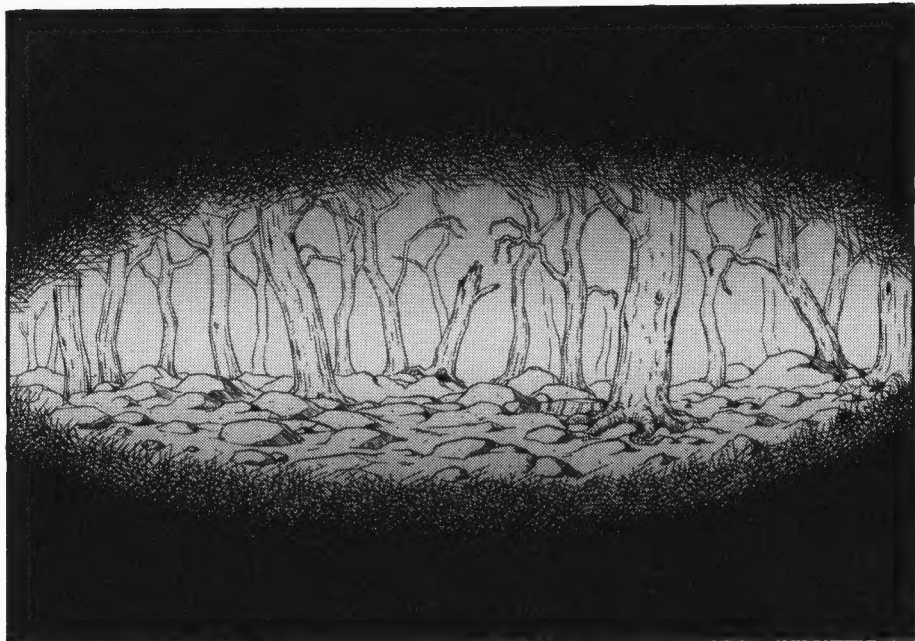
神々のトライフォース

3

かぢばあたる
PRESENTS

SUPER Famicom
© Nintendo
ゼルダの伝説
神々のトライフォース
3

第13話（だいわ）　剣の光（つるぎのひかり）

がばっ!!

つっ…!!

★この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などには、いっさい関係ありません。

ラスカ君！
無事だったか…！
ガノンは!?

!?

これは一体…どういうことなんだ…？
リンクが一撃頭に当てたらこんなんなっちまった…
グオアアア
そうだリンク君！
リンク君は!?
ガノンにふっとばされて……
そこのガケから落ちちゃったよ…
さっき下りて捜してみたけど…みつかんなかった……
ここから…
なんてこった…
そんな時に私は……

どうなってんだよ
こりゃあ…
何がなんだか
さっぱりわかん
ねえよ!!

団長…?

やはりな
これは
ゴーレムドライバー
の術だ

ガノンの封印は
解かれるハズのない
状態にある
だがカニカさんは
これをガノンだと
断言した

封印戦争の物語に
しばしば登場する
魔術によって造られた
レプリカモンスター
それらに術者は
この制御帯を
通じて指令を送って
いたとされている

何をそんな冷静に分析してんだよ!リンクのこととか…
ラスカ君!
しっかりするんだ
君の知っているリンク君はこれしきのことで死んだりしないハズだ

あ…

ここで我々が慌てて互いの信頼を失っては敵の思うツボだ
今回は まさにそこにつけ込まれたばかりじゃないか

状況は最悪だ… だが だからこそ!
必要以上に互いを信頼しなくちゃならないハズだ

ギュ…

くっ!
ドシャッ…

どうやら…生きてるらしいな…

ずいぶん流されちゃったみたいだな…

ダメだこりゃ…
まともに動けやしねえ…

!!

ラスカ達…大丈夫かな…

へえ…
こりゃあいいい
マスターソードを
持ったガキがいるって
聞いてはいたが…

始末する機会を
与えられたのは
オレ達らしいぜ

マズイな
こりゃあ…
人の心配してる
場合じゃねえぜ…

かくん

くっ!
ザッ

おおお

今楽にしてやるぜ!!

ヤバイ!!

やられるっ!!

…な…!?
なんだあ!?

現世勇者は
手がかかるな
マスターソードも
いまだ光らず…
といったところか

あっ…
あなたは
あのときの
……!!

足止めは任せろ
おまえは彼の
治療を！
はいっ！

ほら
動かないで！
よ…
妖精…!?

てめえ…
よくぞまた姿を現してくれたな
600年前の借りを今こそ返してくれるわ!
やれやれ相変わらずだな
600年も根に持つとは暗い奴らだ

うるせー!!

なんだ…?
あの人と奴ら…600年前の…って…
黙ってなって!集中できないじゃないのさ!

ゴッ
ヒュン
それにしても…
ズバ
すげぇ…
相変わらず鮮やかだぜ…
ばぁっ

ゴオン
うおっ⁉
その妖精を捕まえろ！
小僧を復活させるな！
!!
増援か…
少しは手並みが良くなったな…

ザッ
!!
バシッ
ここはひとまず逃げろ少年！
しんがりは私がひきうける！
そんな…あんた一人置いて行けないよ！
甘ったれるな小僧!!

今のその傷ついた体で一体　何ができる!?
何もできはしない!!
足手まといだと…
言うんだよ!
マスターソードを扱えるのはおまえだけだ!
おまえでなければガノンは倒せないんだよ!

そのおまえが
ここで果てたら
ハイラルは…
世界はどうなる⁉

戦えないことがこんなにつらくて歯がゆいなんて…
ちきしょお…ちきしょお!!

危ない!! 後ろ!!

だあっ

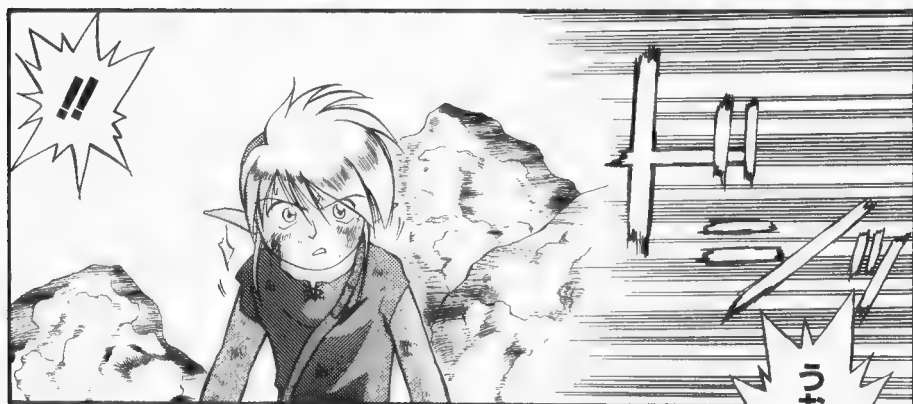
ぜっ
ぜっ
ぜっ
ぜっ
ぜっ

何してんの早く逃げなさいって!!
で…でも…
"でも"も"へったくれ"もないの!!
あんたは切り札なのよ!?
ワガママ言わないで!!

もう一度彼の言ったことをよく考えてみなよ!!

おまえが倒れたらハイラルは…
世界はどうなる!?

確かにその通りかもしれない…
ガノンを倒すためにマスターソードが必要不可欠ってんなら…
それでなくともグズグズしてたら奴はいつかハイラルにやって来るだろう
俺が死んだらガノンは倒せないってことになる…！
あんな奴が…!!

!!
うおっ!!
ちぃ…
やってくれる…!
ジワ

確かにね…あんたの言う通りかもしれないよ…
でもな…この気持ちは止まんないんだよ…！
マスターソードの主だからって俺さえ助かりゃいいって訳があるか！
いや…事はそれ以前の問題だ！
目の前で俺のために戦ってる人を放って逃げ出すような奴に…
ガしっ
世界を救えるもんかよ!!

俺の中の全部の力

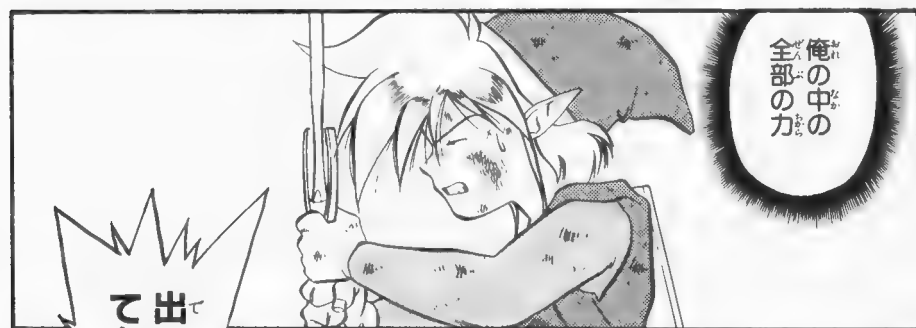
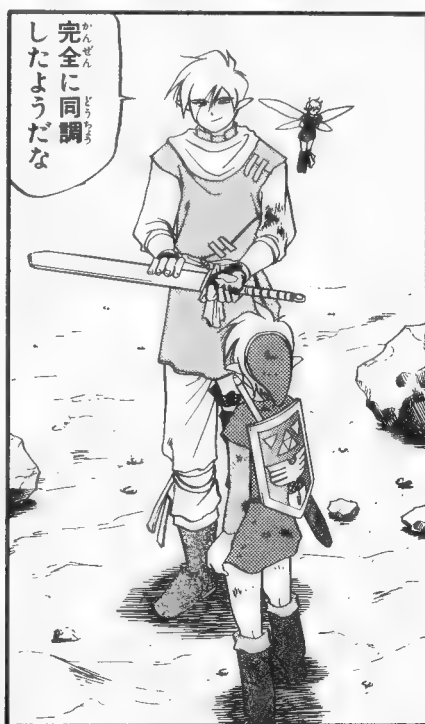
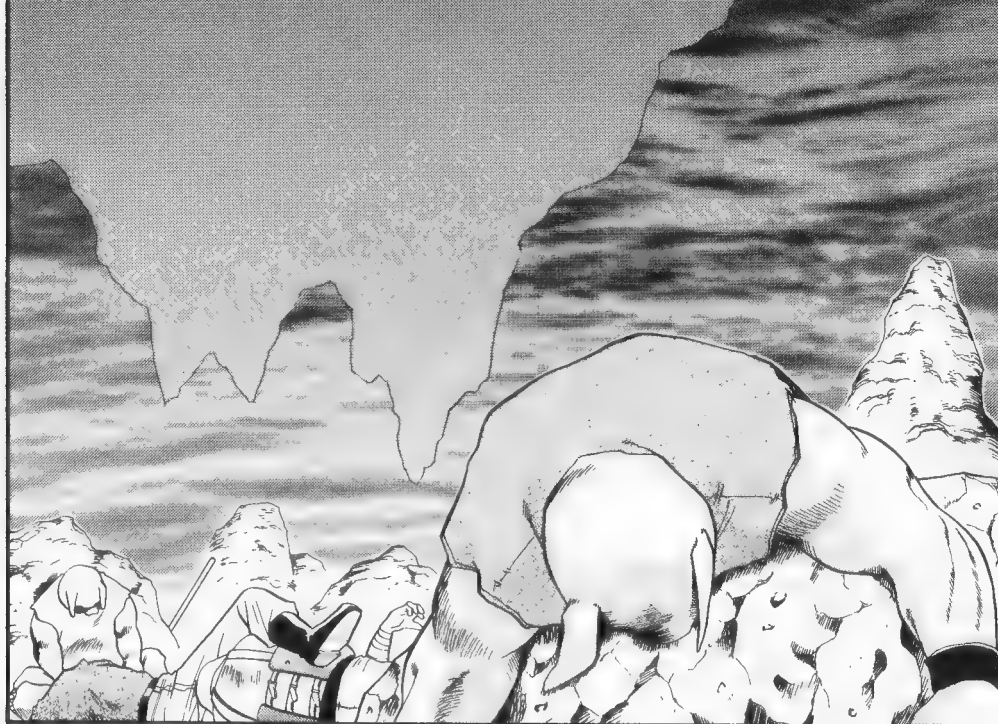
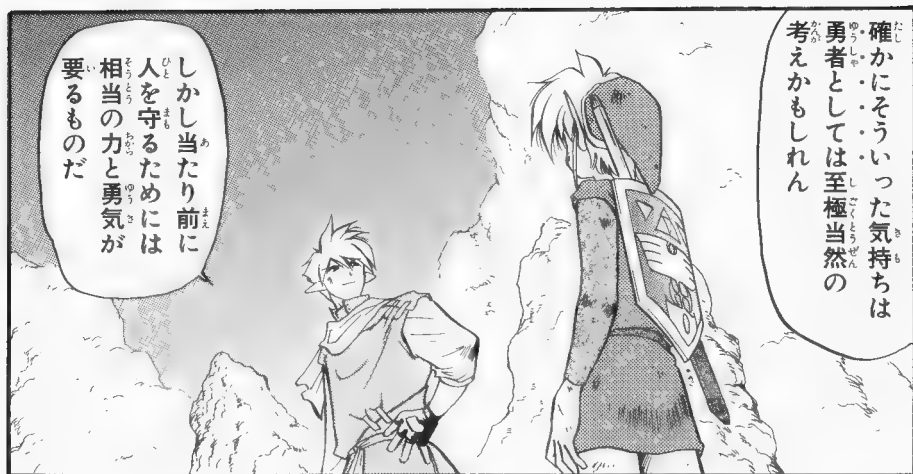
出て来やがれっ
てんだーっ!!

完全に同調したようだな

すげえや…
ケガが治った訳じゃないけど…全身に力がみなぎってる…

どうした…？やっと光ったというのに…
思いのほか冷静なんだな

もう誰も 死なせたくない… みんなを守らなきゃ… そういう思いに

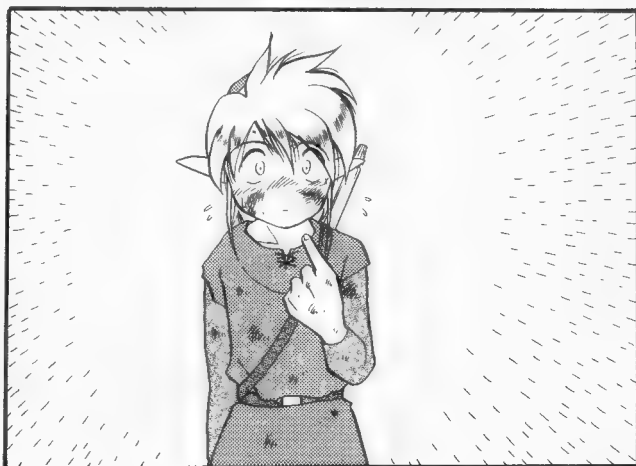
マスターソードが 応えてくれた… ただそれだけって気が すんですよ…

確かにそういった気持ちは
勇者としては至極当然の
考えかもしれん
しかし当たり前に
人を守るためには
相当の力と勇気が
要るものだ
ゆえに彼の者を
勇者と呼ぶ
おまえのような
男をな！
期待しているぞ
おまえは私に比べて
少々優秀らしい

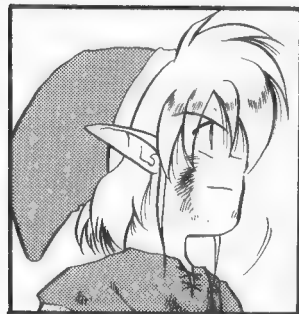
!?

私に…？
比べて…？

隠してた訳じゃ
ないんだが まァ
そういうことさ

封印戦争のとき
マスターソードを
振るったのは

私だったのさ

我が血に連なるって…
じゃ ご先祖様ァ!?
ご先祖様は
先代勇者…!?

掃脚刀から
斜壁刀への
コンビネーション!
俺の剣技と
そっくりだ
……!!
そうか…
それで…!

まかしといてくれよ
ご隠居!
ハイラルは必ず
守ってみせる!!

全員 配置につきました
準備完了です

うむ
ボゥ
では始めるぞ

ボッ
ボッ

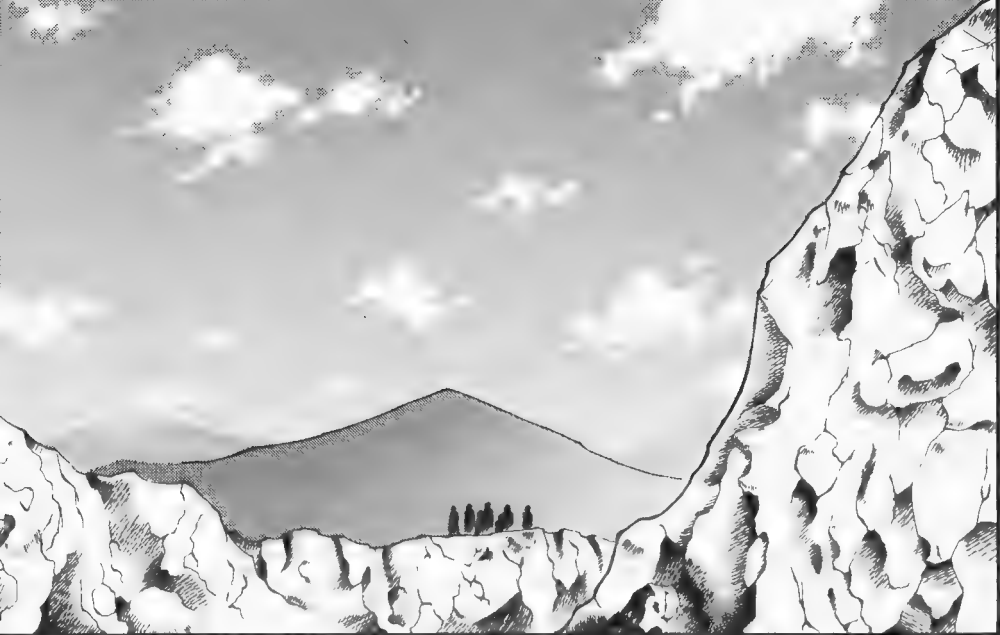
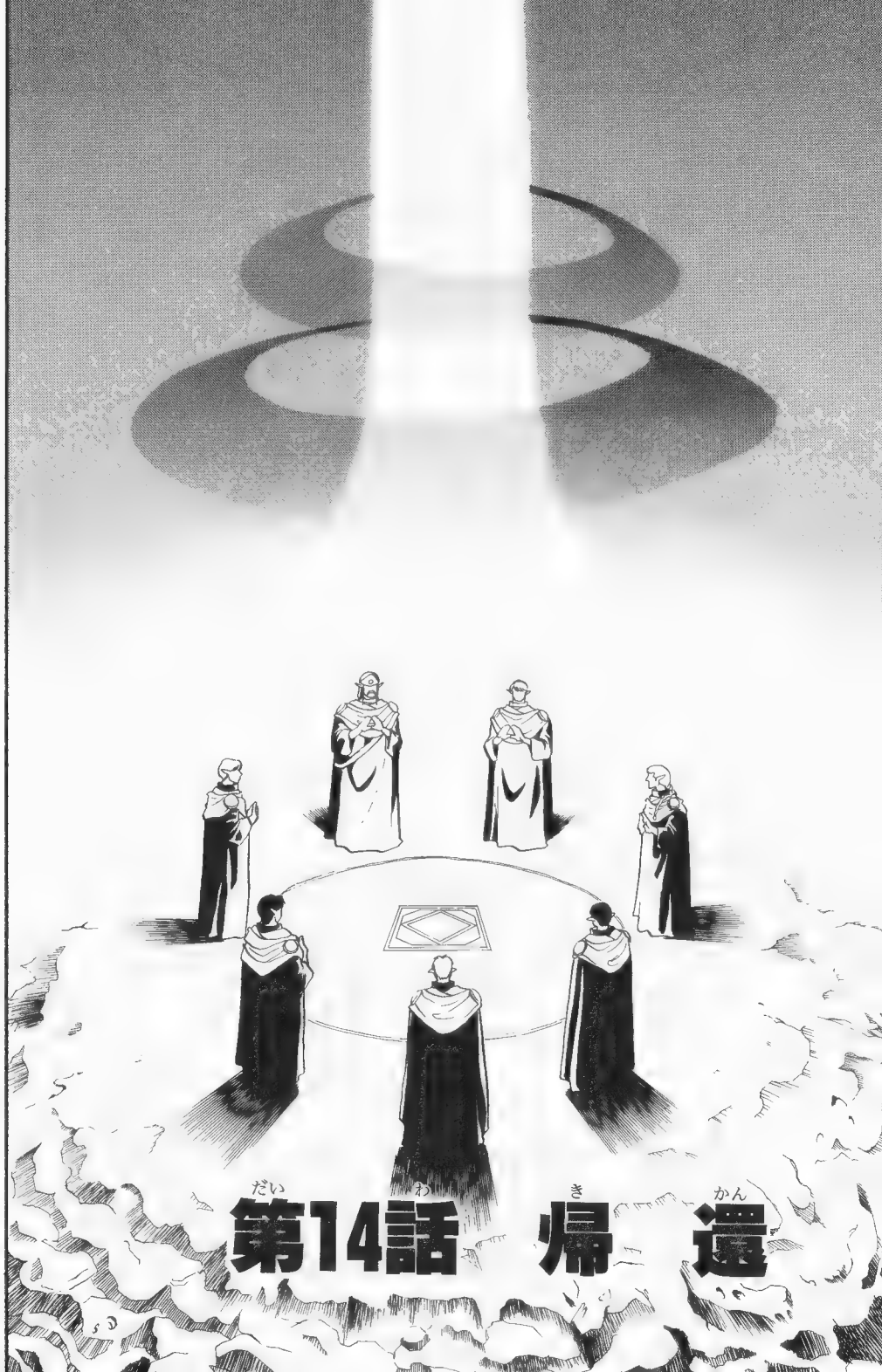
第14話　帰還

ズシュンンン

どうやら
間違いありませんな
うむ

ガノンの封印の状態は完璧だ
とりあえずは血族封鎖術が効を奏しているようだ

国王！
何か

どうも その…我々5人の娘の現状に…
異質な反応が見られるのです…

まさか…！
封鎖術が解かれているのか!?

いえ…そうではないようなのですが…
非術生命反応が強すぎるのです

反応が強い…？
どういうことなのだ？

くわしくはわかりかねますが…
敵の手の内からは逃れているのでは…と…

それは一体…
うっ!?

どうした？

こっ…
こちらもです!
・・・たった今
反応が強まりました!

たった今…?
一体…何が起こっているというのだ…

もしや…
もしや
彼らが…!?

団長 そのへんで 敵から剣をうばいました

ギガガカ
ヒュン
だんっ

シュッ

っしゃあ！
これでクリスタルも4コ目か！

この調子で二人でガノン倒しちゃおうかァ！
ヒュン
どうしたんだいやけに気合い入ってるじゃないか

敵に乗せられてたとは言え…オレリンクにひどいこと言っちゃったじゃん？
おめえはイイよ一人ぼっちでよ
誰も待ってる人がいねえんだし…
てめェ…
伯父さんを殺されて…ぬれぎぬ着せられて…
それでも戦うおまえを手伝ってやろうって思ってたのに このザマだ！
だから…なんていうかさ…

今度リンクに会った時さ
堂々とアイツの目を見れる自分になりたいんだァ

リンク君の無事をみじんも疑っていない

私も見習わなくてはな…

あ？ どしたの団長？

あ〜 いやいや
なんでもない

さあ！
先を急ぐぞ！

ほいさ！

どうした?
定例報告には まだ
間があるハズだが?

今回のことで
ご説明いただきたく
参上しました

ガノン様のレプリカは
試作段階で現状での使用は
ハイリスクだったハズです
それを承知で
あえて使用した
その根拠を
お示しください!

まさか…
我が輩は もはや
用済みと…!?

まあよい

結果マスターソードは輝きを取り戻した

あとは

どうやって奴から奪うかだ…

こ…
これは…!?

……
リンクだよ…

そうだよ
きっとリンクが先に
乗り込んで…！
いや…ちょっと
待つんだ！

この傷を
見るんだ
高熱の刃で
斬られた感じ
だろう？
こっちのは
火炎系の魔法で
焼かれたような
傷痕だ…

ハイラルから
魔術士の増援が
来たのかな…？
どうかな…そも
ハイラルに これ程の
熱量を扱える術者が
いたろうか…
考えてたって
始まんねえ！
行こうぜ 団長！
ああ！

ブオッ
パシッ

ガッ
ガッ
バシッ
とぉりゃっ!!
ゴキィィ

がくん
しまった!!
ラスカ君!!
ヒュッ

おいおい
おまえらしくも
ねえな ラスカ
俺のいない間に
拾い食いとかして
腹でも壊したか?

よっ！
元気？
リンク!!
ゴキン

スタッ
かあぁっ
あ
じわわ
リンク君…
無事でよかった…
団長もね
マスターソードも
光ったんだね
やはり さっきのアレは
リンク君だったんだな…
あー まあ
色々あってね
ついに…
モノに したよ

やっとかよー
ったくおかげで
えらい目に
あったよなーっ

こないだは
危うく死ぬトコ
だったし
ガノンと
やり合った時だって
ゴゴゴゴ
にィ!?
剣が光ってりゃ
もっとマシな戦いが
できたろーによォ

そうだな…
すまねえ
おまえにゃ
いらん苦労
かけちまったよな

バカ野郎〜
そんなコト
言うなよ〜
謝んなきゃいかんのは
オレなんだっちゅーの！

新しいキズも
増えてるじゃ
ねーか…
一人ぼっちで大変な目に
あったんだろうに なんで
そんなこと言えるんだよ…

オレが頑張って
きたのはリンクの
目を見て謝るため
じゃねーか！

言えよ…
言っちまえよ
オレ〜っ！
ぐぐっ…

……
……

〜〜〜っ
ばっ

リンク！
………
OK
どたーっ
リ…リンク君!?
なんてことを…!!
団長！

どういうコトなんだい？

俺達 昔からああなんだ お互い悪いことしたって気はあっても意地や照れで素直に謝れないんだ…

名コンビ復活だね

コンビぃ？

よしてよ

俺達ゃ ただの
幼なじみでさ

これで5つ目…
あと2つか！

いや
それで7つ目だよ

なんだよ おめー一人で2コも取ったのかあ！
へへっ まいったか！
じゃあ これで7つ全部揃ったってことじゃないか！

カニカの話じゃ
剣の光弾を当てると
解呪されるんだっけな
ああ…
そんじゃ…
行くぜ!!
ブンッ
シュ

バアアッ

こ…これは……？
姫！

だ…団長…
リンクさん…と…

彼はラスカ君我々の仲間です
ど…どォもはじめまして…

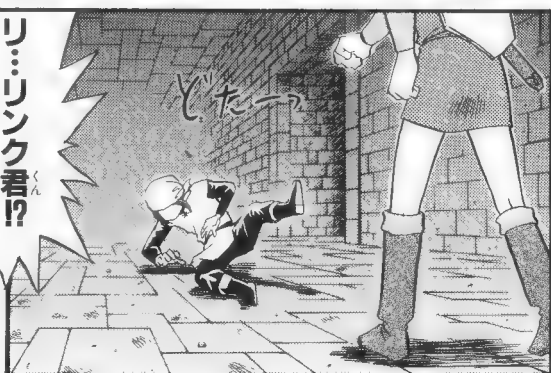
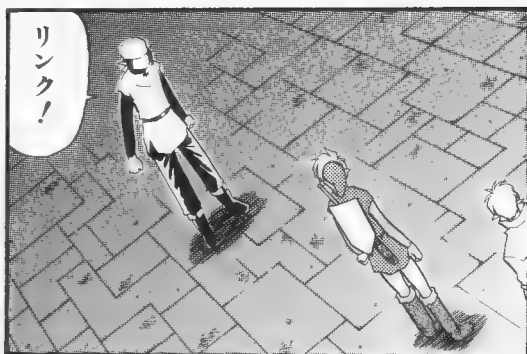
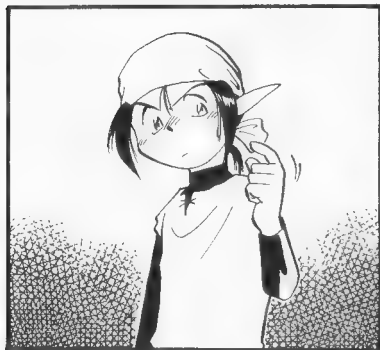
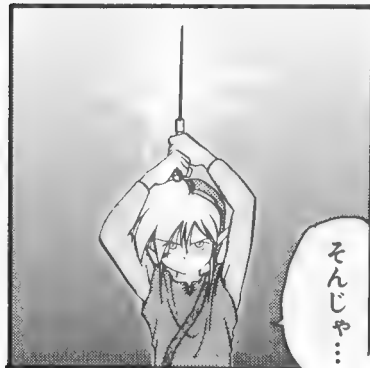
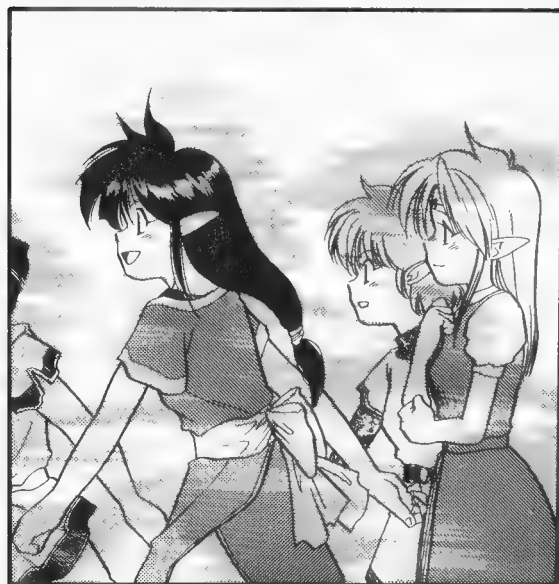
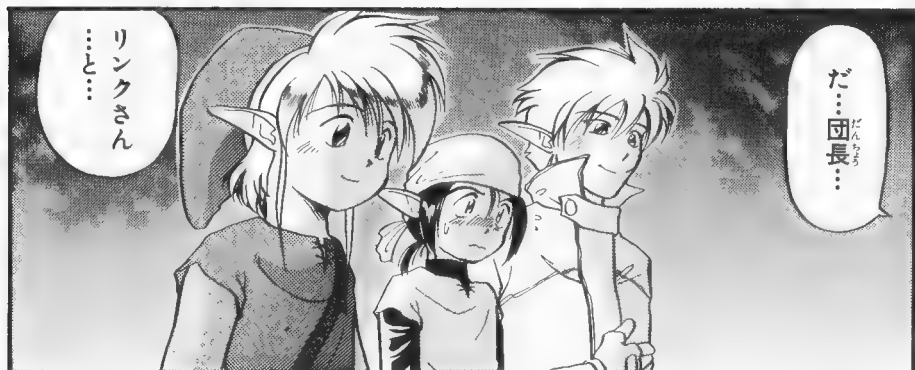
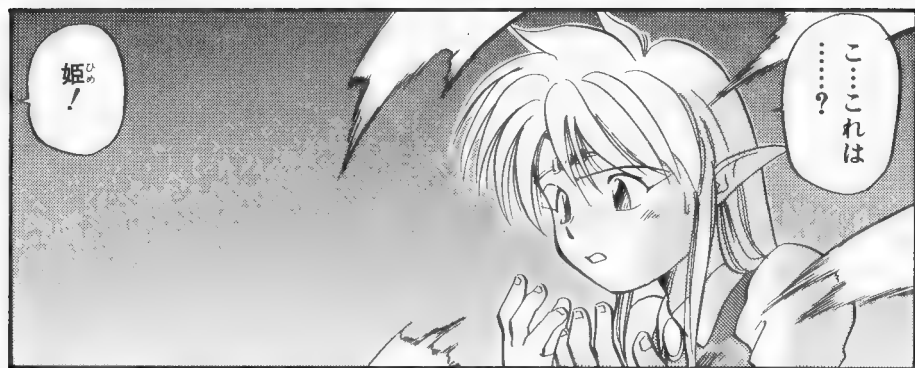
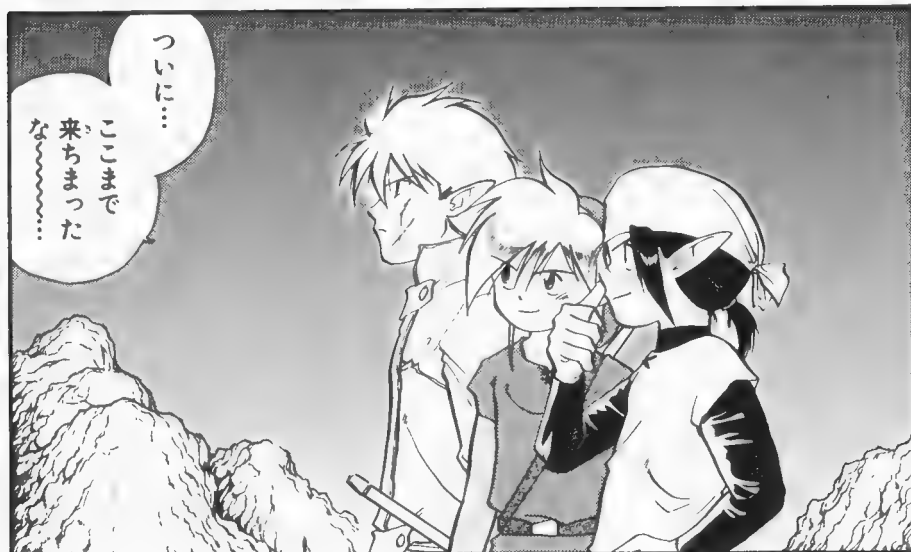
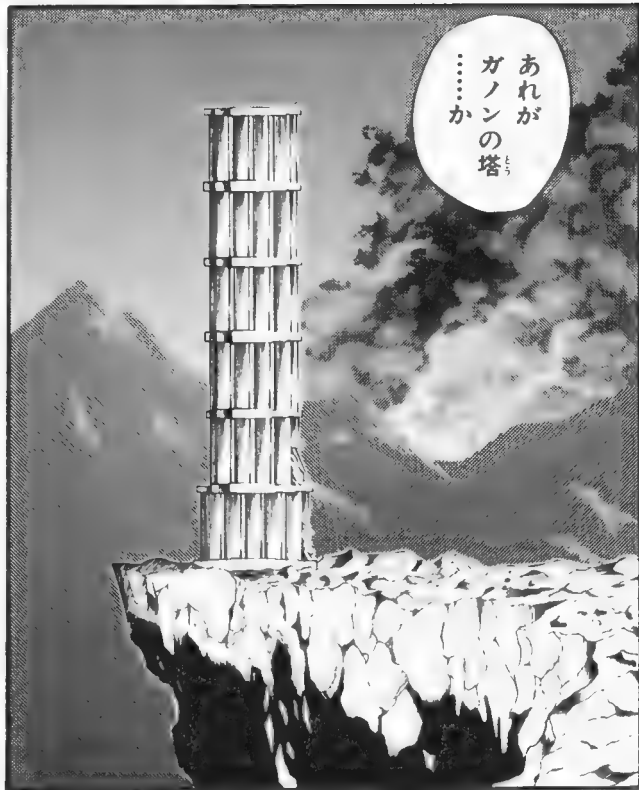
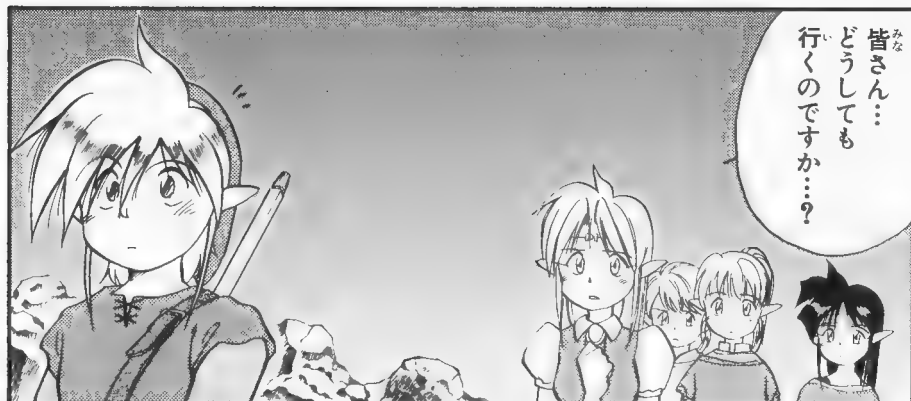
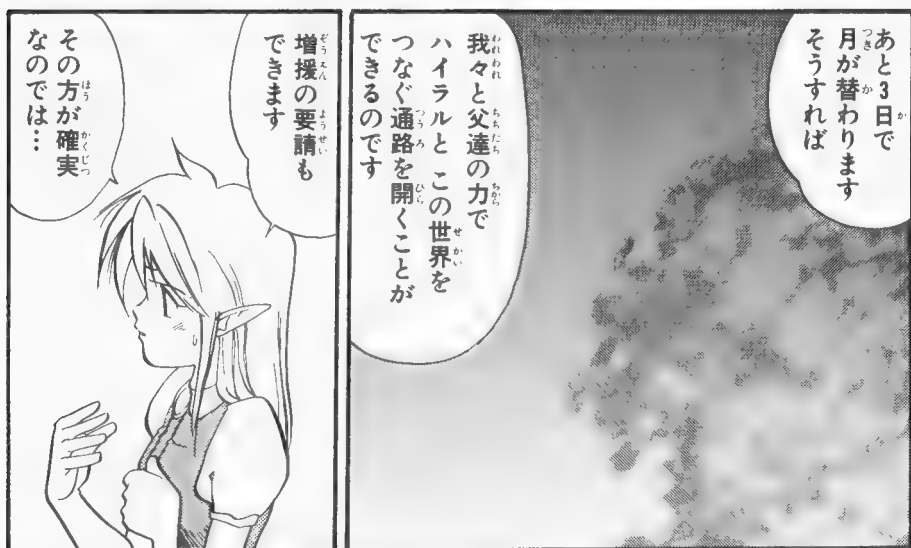
ククク…
これで役者と
舞台が整ったと
いうわけだ…

さあ来るがよい
勇者共…
決着を
つけてやる！

あれがガノンの塔……か

カニカさんの地図によれば
アレが最後の砦のハズだ

ついに…
ここまで来ちまったな～～～～…

第15話　裏切り
これで最後だ！気合い入れるぜ！
っしゃあ!!

皆さん…
どうしても
行くのですか…？

あと3日で
月が替わります
そうすれば
我々と父達の力で
ハイラルと この世界を
つなぐ通路を開くことが
できるのです

増援の要請も
できます
その方が確実
なのでは…

その3日の間に
残存兵力がなんらかの
手段をもって
ガノンの完全復活を
達成しないという
保証は ないんです

完全復活前なら
我々だけでも
なんとかなるでしょう
いや
なんとかなる
ハズです

リンク君が
います！

マスターソードを
使いこなす勇者です
必ず…！
二人とも一
行くぜー！

みんなー
ガンバってね
──!!

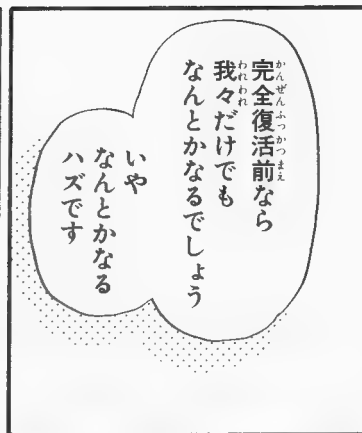
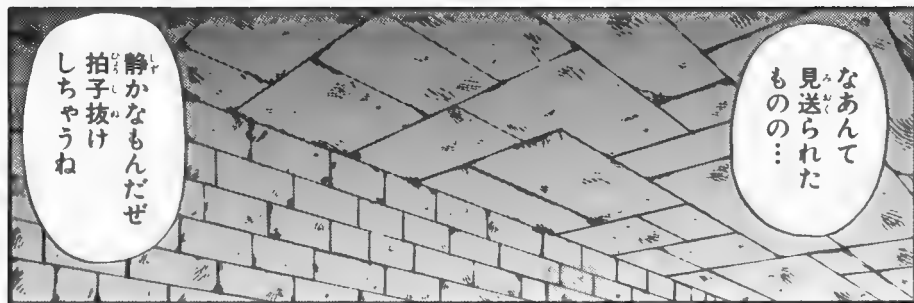
なあんて
見送られた
ものの…
静かなもんだぜ
拍子抜け
しちゃうね

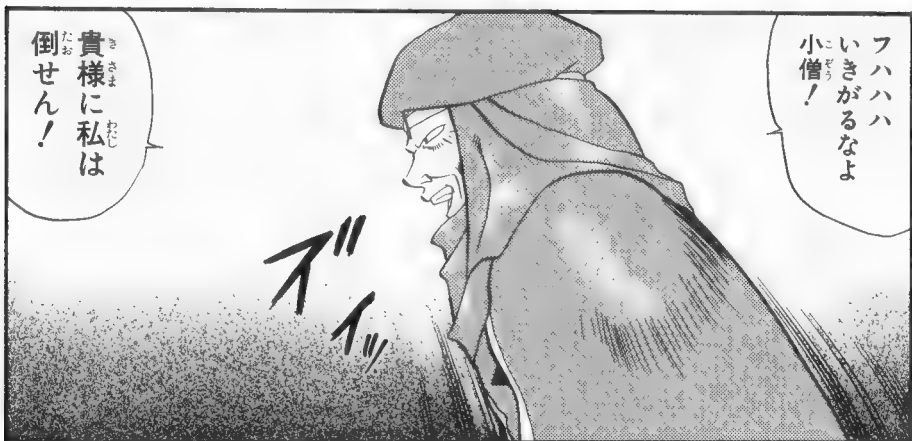
油断するな
何があるか
わからないぞ
ようこそ
勇者諸君!
!!

待ちかねたぞ…
さあ早く ここまで
来たまえ!
こっ…この声は
…まさか!

バカな…!
そんなハズは
ない…っ!!

ようやくの
おでましだな
はじめまして…と
言っておこうか…

アグニム!?
バカな…!!
貴様なんで!?
そうか…レプリカだな!?
団長!?
ニッ
以前王城で倒したアグニムか今目の前にいる奴か
おおおお!!
な なんだ!?
だが私とてただでは…!!
どちらかがあのガノンのようにレプリカなんだ!
さすがは騎士団長察しがいいな
無論オリジナルはこの私だがね

そうかよ…
すべての黒幕は
テメーだったのか
あのアグニムを倒して
カン違いしてたぜ

今こそ本当の
仇討ちをして
やるぜ!!

フハハハ
いきがるなよ
小僧!
貴様に私は
倒せん!
ズイッ

いきがってんのは
どっちだバカ!
手の内はわかってんだ
魔法を撃った時が
テメエの最期だ!

そう…
マスターソードが
あれば…な…

何ィ!?

パキッ

カニカ!?

マスターソードを捨てろ
さもなくば…

くっ…！
きたねエぞコラぁ!!

ぐぐっ
……っ
…ち
ちくしょう!!

いい子だ

ぐっ
まったく
素直で扱いやすいよ
キミらは

ぷっ

タッ

…？
どうしたよ
カニカ…？
早くこっちへ…

あきれた
お人好しだな…
まだわからんか
なんだと!?

この者は私の
部下なのだよ
貴様らは今の今まで
踊らされていたと
いうことだ！

ウ…
ウソだろ
カニカ…

おい…
よォ！

ちぃっ!
キミらはよくやったよ
ぐはっ!!
ア…アグニムが二人…!?
マスターソードを復活させ
!!

ズドドォッ
ドンッ
くあっ!!
娘達の封印を解いてくれた

ア…アグニムが…
3人…！
ゆえに感謝と敬意を表し
全力でお相手しよう

んな悪びれた顔したってダメだぜカニカぁ!

おめーはオレ達をだまし続けた…
後できっちりスジ通してもらうからな!覚悟しとけよ!

まあそういうことだな
今はハイラルのため…世界のためにアグニムを倒す!

ずいぶんとナメてくれたな……
マスターソードなしでこの私をどう倒そうというのかね!?

答えてみろ!!

パッ

けっ
まだまだァ!!

そうとも!
まだやれる!!

倒すぞ! アグニム!!

力の差は明白…
戦力差は圧倒的…
状況は最悪…
それでもまだ…
まだやると言うのですか…!?

だっ…大丈夫かね リンク君!
ああ これくらい なんともないぜ
カニカは? ケガねえかい?
やってみもしねえことを できねえなんて 言う奴ぁ
オレぁ キライだね
だからって だからあきらめ ろってのか
冗談じゃねえ!!
二人共 大切な仲間だ!!
絶対 助ける!!
一匹たりとも あんたんトコにゃあ 近づけさせねえ からよ

我が輩は今――

本物の勇者を見ているというのですか――

大丈夫かよ リンク！
お…おう

正直驚いたよ これ程やるとは 思ってなかった
よくやった…が これまでだ

ばさっ
！

死ね

!

な…
なんだ!?
どうした!?
やあああああ!!
まさか!?

ガッ
シャァァ

ぐあああ!!
ボゥ
くっ…!
そうか!
あれが制御体だったのか!!
ちいっ!!
くっ!
ズシ
イッ
ゴッ

リンク君！
マスターソードを!!

た…確かに…
届けましたぞ…
ガクッ
…カ…!!

カァアアアァーッ
アグニム……っ!!
た、
た、
た。
ギッギッギッ
きっさまああああア!!

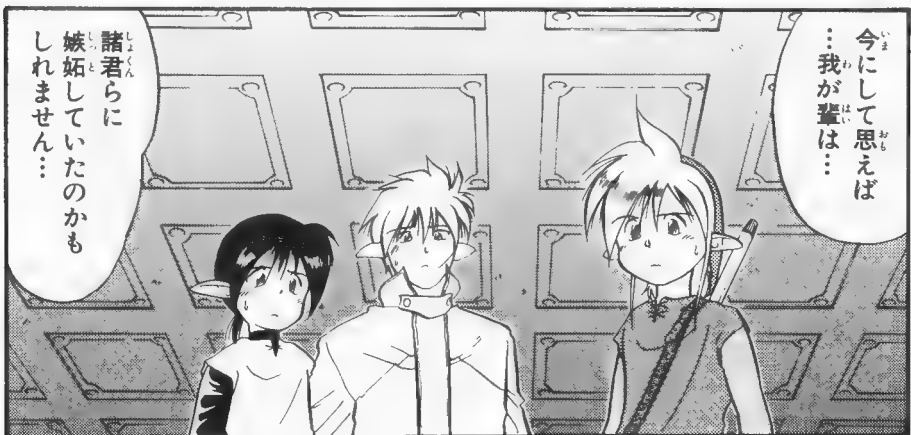
う…
うおお…っ!

ガ…
ガノンさ…
ま…

ゴオオオー

我が輩は…
己の保身ばかり
考えて600年間
生きてきました…
いえ…
違いますね…

死んでいなかっただけで
生きてきたとは とても
言えませんな…

諸君らは
重い使命を
背負い…
しかし それに
つぶされずに
実に堂々と戦って
いましたな…

今にして思えば
…我が輩は…
諸君らに
嫉妬していたのかも
しれません…

でも…戦えたじゃねーか
これ以上ねえくらい立派によォ…

カッコよかったぜカニカ

そ…そうですか…戦ってましたか…ハ…ハハハ…
や…やれば…できるものですね…

カニカ
一つだけ答えてくれるかい？

あんたのことだ…何かがあって奴の…アグニムの命令をきいちまったんだろ？

死んだ両親を生き返らせハイラルへ帰してやる…

そう言われました…
…そっか
じゃあしょうがねえな

なあ 団長 ラスカ
ああ… そうだな
んなこと言われたらオレだって言うこときいちゃうぜ

ありがとう……
皆さん…本当にありがとう…

父さん――
母さん――

生き返らせてあげられなかったけど

間違ってないよね……？

ゴゴォーン

ドォオオー

カッ

ザッ
ザッ
ザッ
おいおい
冗談じゃねえぞ なんだ
この団体さんはァ!?
アグニムという
指令塔を失って
混乱してるんだろうな!
まァ なんに
せよ…!
ハイラルへの
空間通路が開くまで
5分間…!

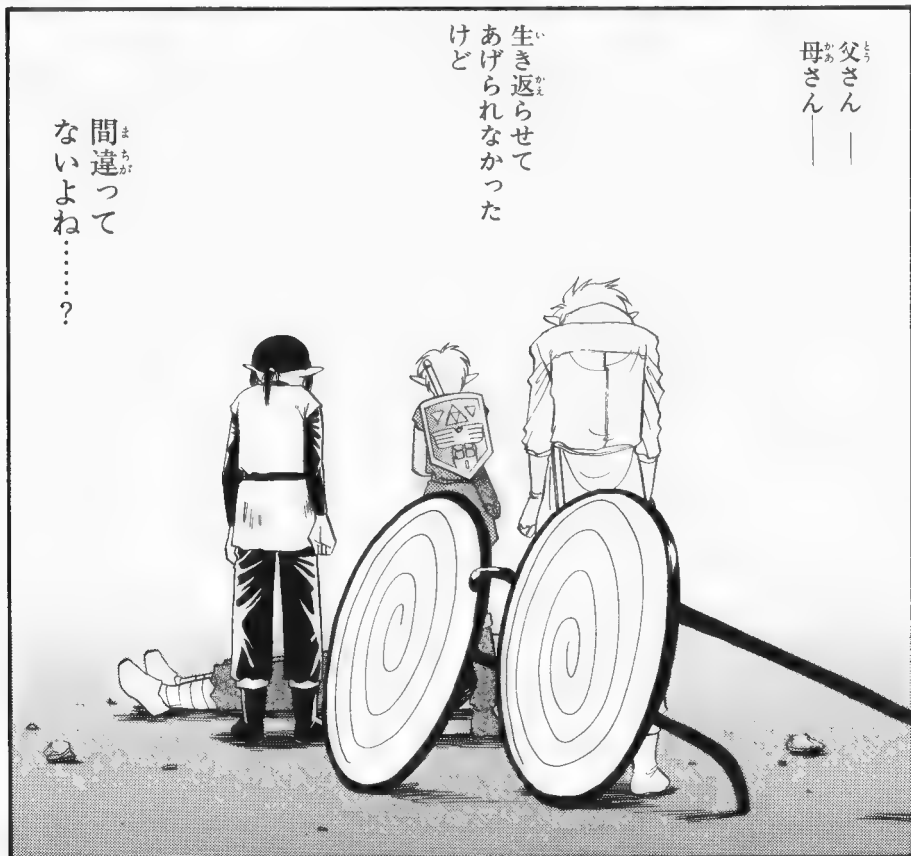
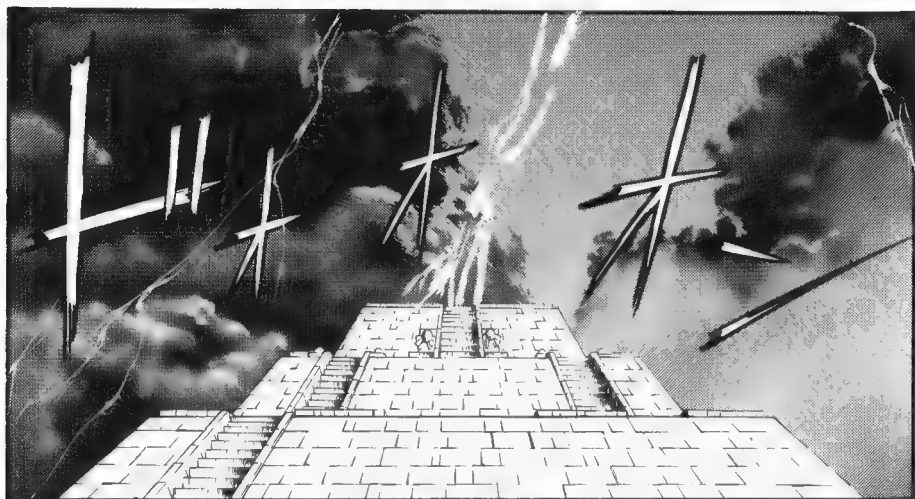
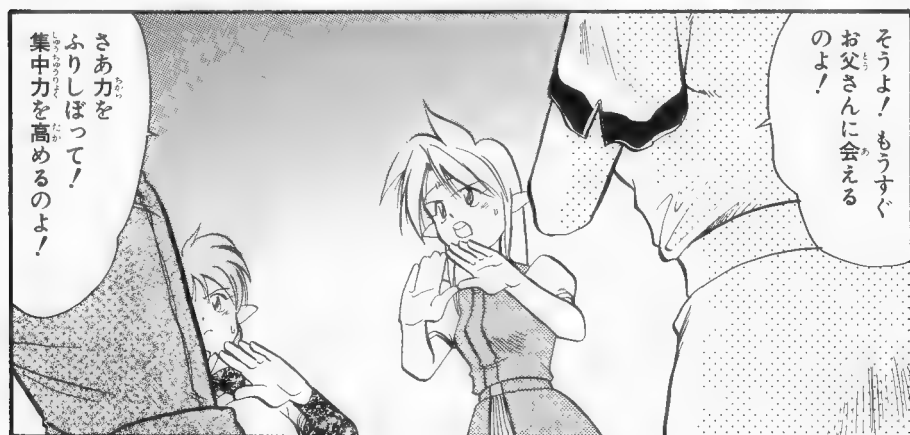
第16話　宿命

頑張って
頑張ってください
皆さん…！

姫様！
るーちゃんが
……！
はぁ
はぁ

んーん…大丈夫
あたしも頑張る！
お兄ちゃん達だって
頑張ってるんだもん！

そうよ！もうすぐ
お父さんに会える
のよ！
さあ力を
ふりしぼって！
集中力を高めるのよ！

すまねえな　カニカ…
本当はハイラルで
葬ってやりてえが…
死者は位相空間を
越えられないいん
だってさ…
よくよく考えて
みりゃあさ…

団長やラスカと戦ってきてさ
二人とも強ぇから忘れがちだったけど…
実際はカニカみてぇにさ
戦う術を持たない人の方が多いんだよな
なんていうか…人を護るってのがどういうことか…
この戦いにどういう意味があるのか…
改めて思い知らされた気がするよ…

王室の衛兵学校でよく言われた言葉を思い出したよ
世の中には不必要なものなど何一つない
存在しているということはどこかで誰かが必要としているからだ…って
我々の技や力も同様に必要とされているから
ぐっ
ぐっ
求められるまま正しく使わなくちゃね
すべての人達のために
すべての人達のために

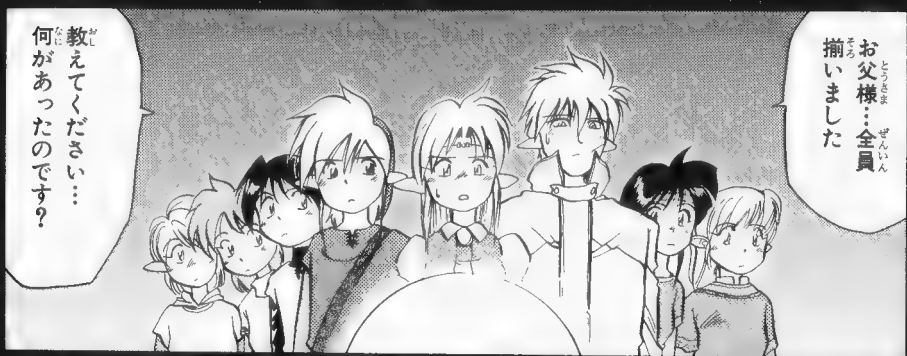
まアまア
小難しい理屈は
おいといてさ
とりあえずは
ガノンが どこに封印
されてるのか…だよね
封印反応の位置は
国王様達に任せて
おけば間違いない…
みんなー!
ほォら
おいでなすった
イリエル…
位置が つかめ
たのかい?
はぁ
はぁ
それが…国王様と
連絡が ついたんだけど
何か様子が変なのよ
早く全員
つれて来いって
………

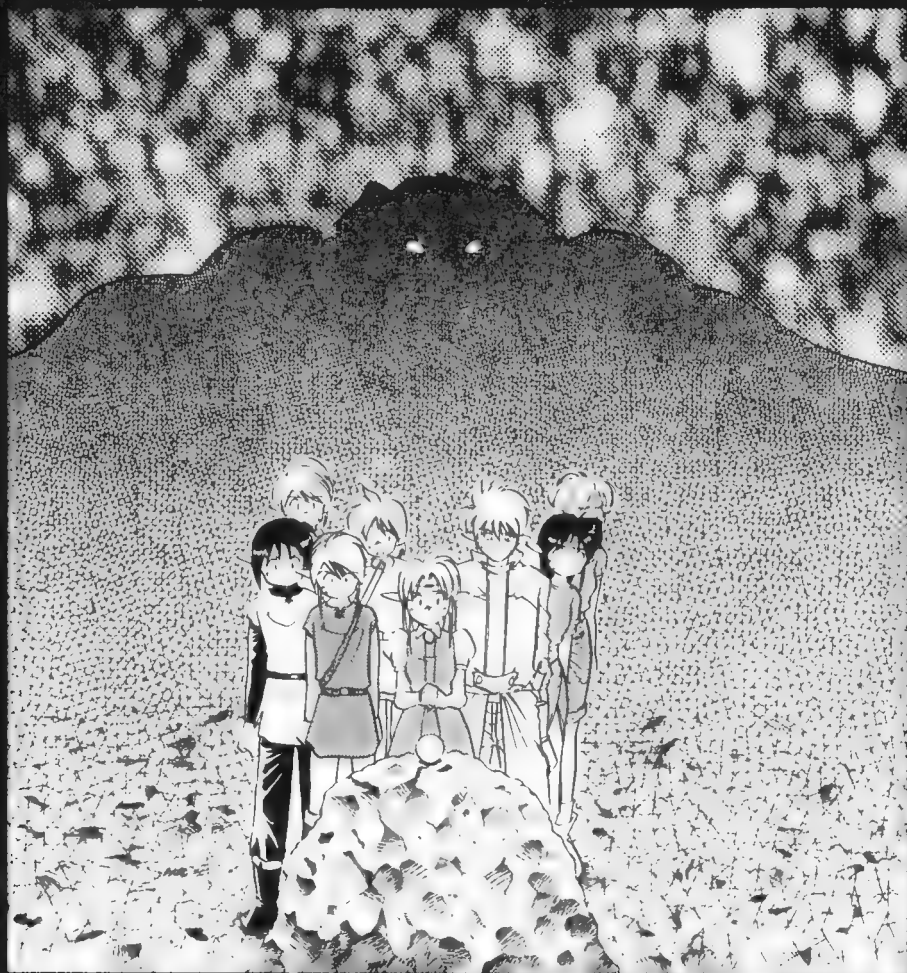
姫ー！

一体どうしたんですか？
何があったというのです？
あ王様

お父様…全員揃いました
教えてください…何があったのです？

単刀直入に言おう
全員そこから即刻退去するんだ!!

なっ……？
どういうコトです？
ガノンは…
………
順を追って説明しよう
我々は定期的にガノンの封印の状態をチェックしていた
うむ
準備完了です
それは つい昨日までは完全な状態であった
だが昨日…突如 劇的な変化が現れたのだ！
昨日…？

君達がオリジナルのアグニムを倒したと推定される時刻と時を同じくして
う…うおお…っ！
それは起こったのだ！
まさか…！
それではアグニムを倒したことが原因で…!?
それは定かではない…
単に偶然の一致かも知れん…が
ここからが本題だ
封印は解けてはおらん…が極めて不安定な状態にある
そう…まさにいつ解けるかわからぬ状態なのだ！

それは1年後かも
知れぬし10分後かも
知れぬ…
まったく
わからんのだ!!

こちらでは民間からも義勇兵をつのり討伐隊の編成を急いでいる
君達も いったんハイラルへ戻り来たるべき時にそなえるのだ！
オヤジぜったい志願するぞ
しかしお父様…まだ月が替わっていません
私達だけの力では位相空間を越えられません…！
その点については問題ない
こちらで我々7人が力を合わせ全力でサポートする
こちらも早速準備にとりかかる！
おまえ達も即刻空間同調の陣をしいて待機してくれ！
!
!
わかりました…！

聞いての通りよ…
みんな早速 準備して
ちょうだい！
はいっ！
ところで姫様…
それには いかほど
かかりますか？
そうですね…
急ぎますが…
5分程で
完了します
わかりました
5分ですね
？

まァ
こういった
ワケでして…

やるぜぇ団長…ラスカ!
5分間だ!!

行っくぞおォ――!!
ダッ
あ

あ…ああ…
みんな!!
恐れているヒマはありません!
私達は私達の役目を果たします!!
彼らのために…
そしてハイラルのために!
はいっ!!

だアッ!!

スパッ
ヒュッ

ガッ
ビュー
ギュオッ

!
ピシィィ

ズォォオ
オオン

同調しました！
皆さん早く法円の中へ！

ザザッ
ザッ

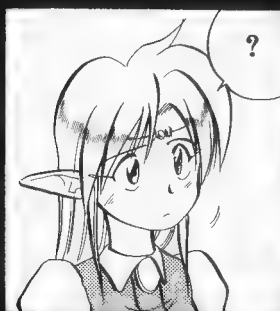
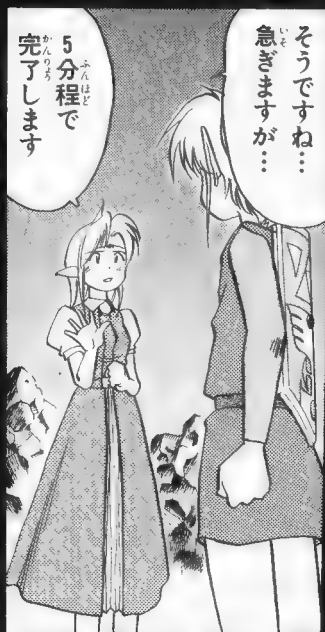
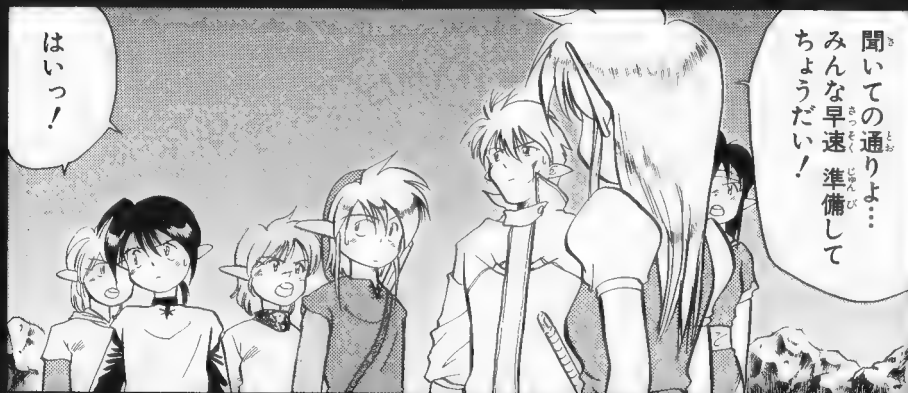
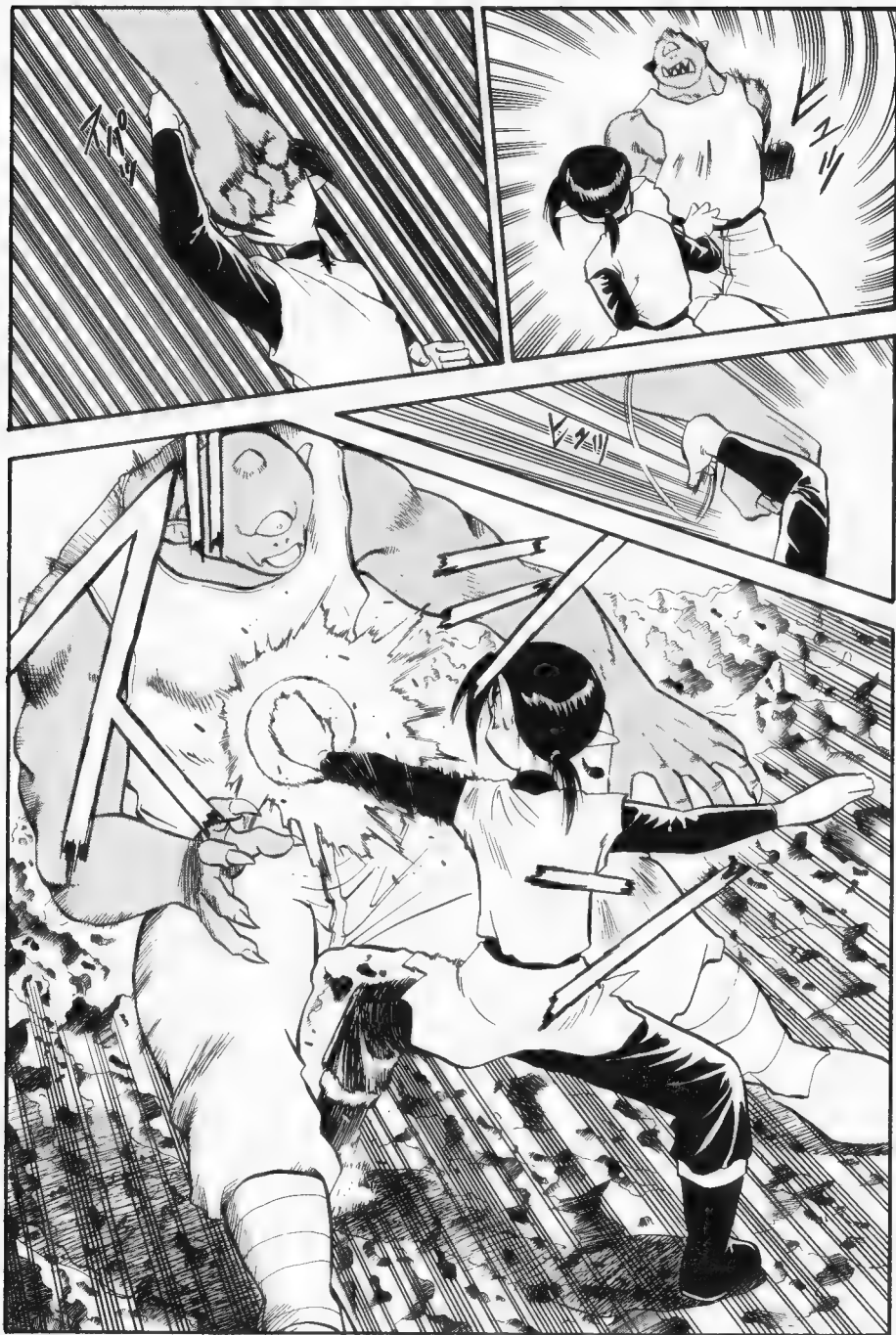
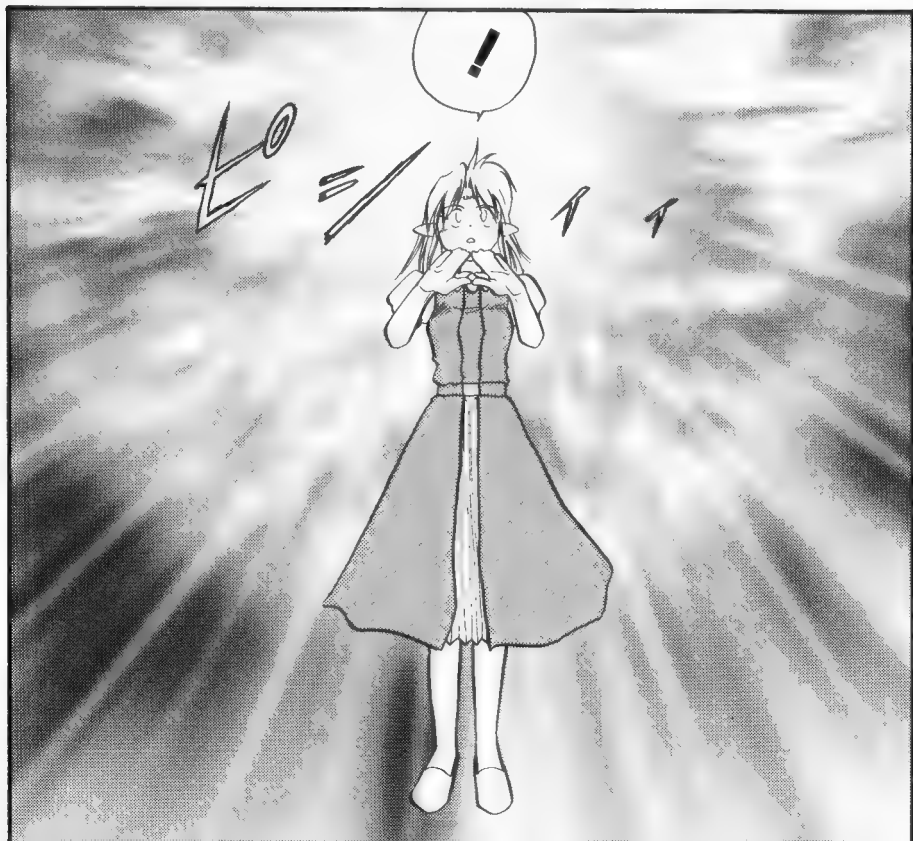
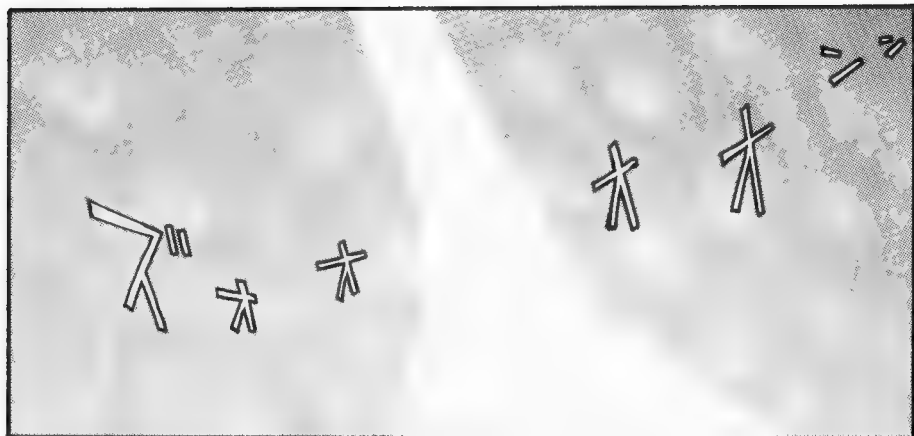
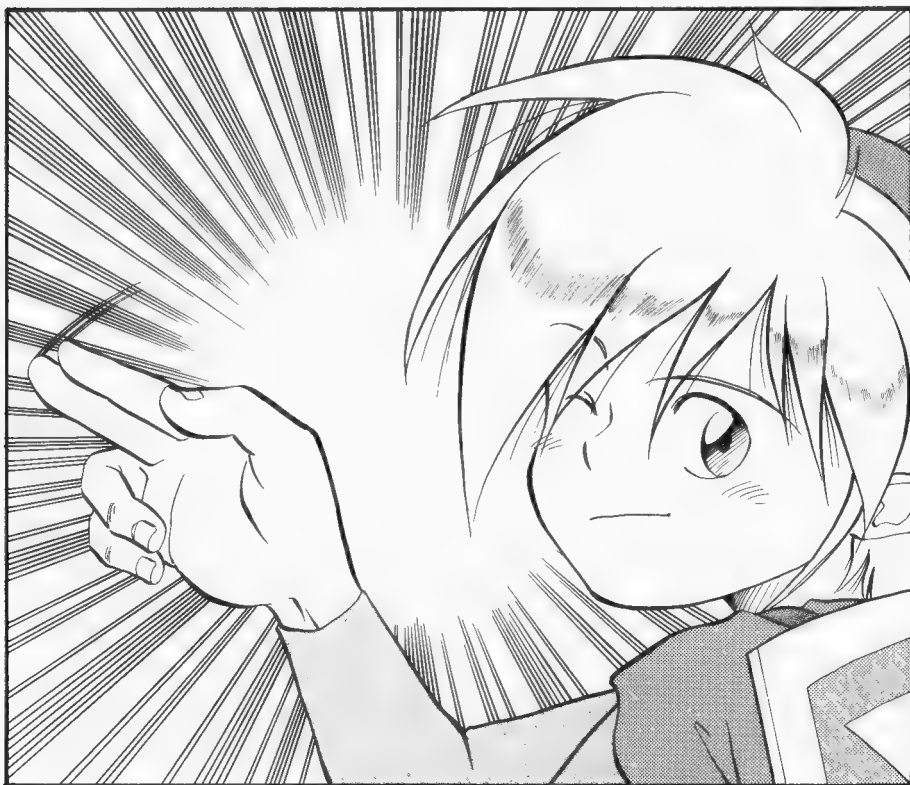
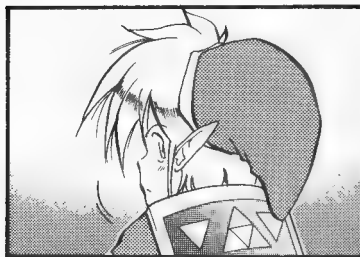
さすがァ！
300秒カッキリだぜ！

数えてたのかい？
まーね
キカンでしょ

リンク！
急げよ!!
!?

リ…リンク…？

リンク!!

何カッコつけてんだよ!!
さっさと来いよ!!
ラスカ君…っ！

てめエ
わかってんのか!?
これを逃したら
帰って来れねェん
だろうが!!

皆さん…っ
これ以上は
もう…
タ…
タイム
アウトです！

リンクーー!!

求められるまま
正しく使わなくちゃね
そういうことさ
俺はマスターソードに選ばれた――
剣の力を手に入れた
この力をもって為すべきことはただ一つ――
打倒ガノンだ!

これは俺に
与えられた力
求められる
役目
こんな役目——
他の誰も背負う
こたぁないのさ
俺は負けねえ
いや
負けるわけが
ねえ！
なぜならば

こういうのを
宿命っていうの
かな……
ガッ

宿命に流されるのは
イヤだけど
国を…人を護る
この戦いを
宿命だってんなら

それもいいさ——

オオオオオーン…

ザ

マスターソードが反応している…
真に倒すべき敵の存在を俺に知らせてくれる…

ここだな
ここにいやがるんだな

ガノン!!
第17話 死闘

入り口らしいものは
見あたらねえな…

！

カ
ッ

ピシャアアアン

きゃあああっ!!
うおっ!?

ど…どうなったの…？
まぶしくて目が…

！

ぼやー…

お父様！
え？なになに!?

おお…
みんなよくぞ無事戻った…

国王様！
この めでたき時に失礼とは存じますが進言致します！

聖地への進行軍を一刻も早く出撃させてください！
全軍でなくとも先遣隊だけでも…！

そうよ　お父様　急がなきゃ…！
なんだ…？どうしたというのだ

今まで共に戦ってきた仲間が…マスターソードを持つ勇者が一人いまだあちらで…！
なんと!?

マスターソードの少年…リンク君と言ったか…
そういうことなら王室騎士団だけでも…

いや　そんなに慌てることもないと思います
ラスカ君!?

あの時…一人で残っちまって…
リンク!急げよ!!
!?
あん時はあん時でビビッたけど…
あいつ 死に急ぐような奴じゃないし…
案外一人で片づけて帰って来るかもよ?
ヒュッ
そんな楽天的な…相手はあのガノンなんだぞ?
リンクだってマスターソードを持つ勇者だよ?

とりあえず今はリンクを信じて…

オレらはオレらにやれることをやろうよ

落雷のあと…か?
ほかに入り口らしい入り口はないみたいだな…

!?

カッ

うああああ!!

ガノン…!! コイツは本物なんだよな…
ついに ご対面かよ…!

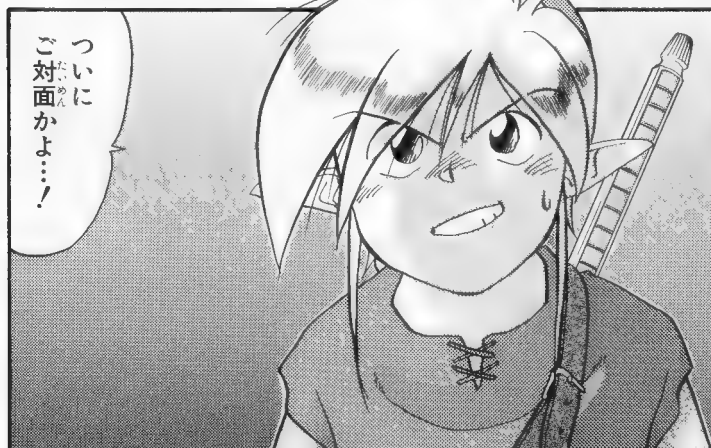
相手が誰であろうと
このガノン様の前に立つ者は
たたきつぶす!!

!!

!?

うおっ!!

なんてこった…打ち込みの衝撃波で服が…!
化け物め…!

しかし…!!
どんなにスゲェ技だろうが…
当たらなきゃイミないぜ!!
回転斬り!!
みたか!!
ぎょ!
ニイ

ふん…最初の一撃に
最大の奥義をもって
当たった賢明さは
さすがだな

しかし しょせん子供…
その程度の斬撃では
オレ様は倒せん!!

くらえ!!
ちいっ!!
!!

斬ってダメなら
突きだ!!
な…!?

うおおぉぉぉ!!
あ…!

くっ!!
カァァッ
!
チョーシに…
のんなよ!!

む…う…

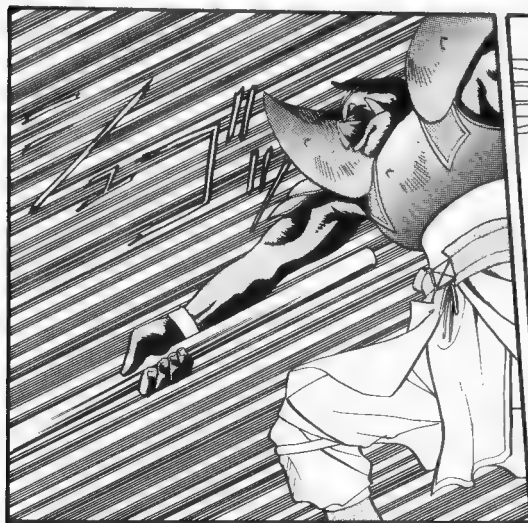
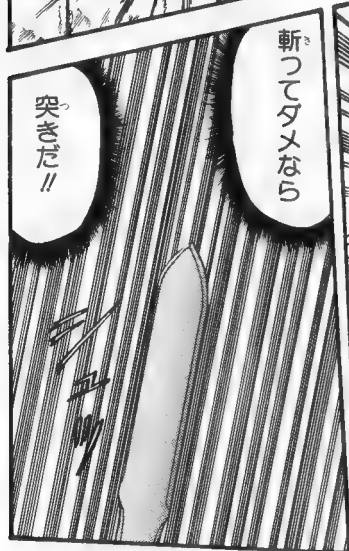
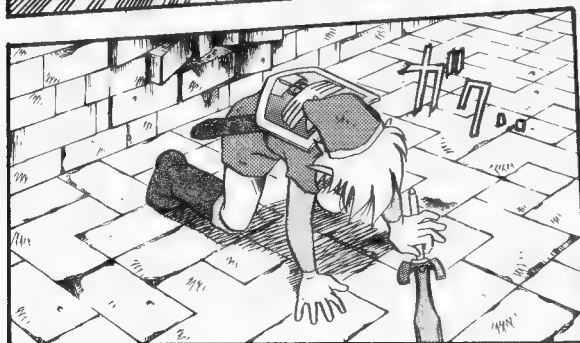
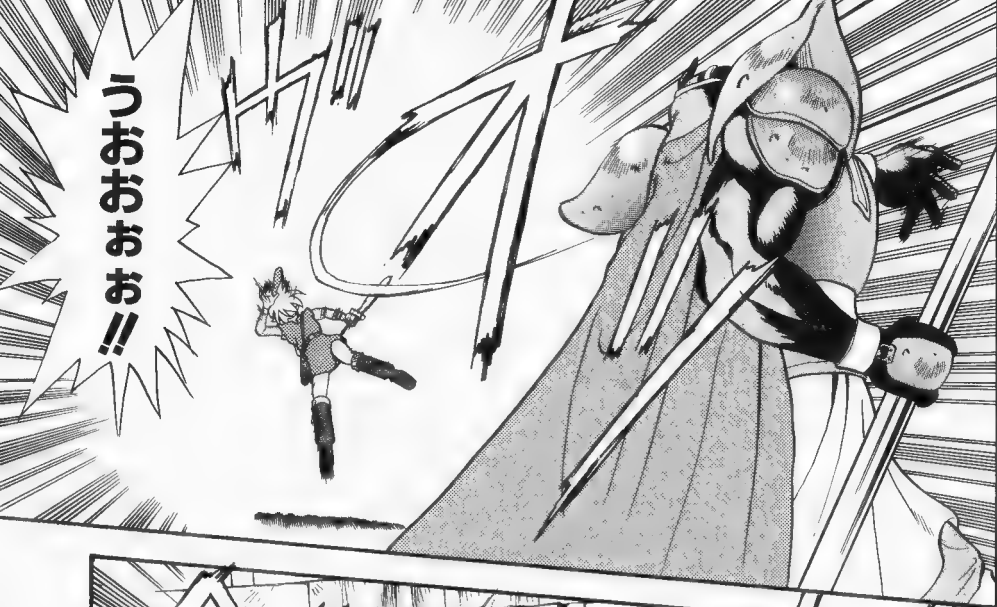
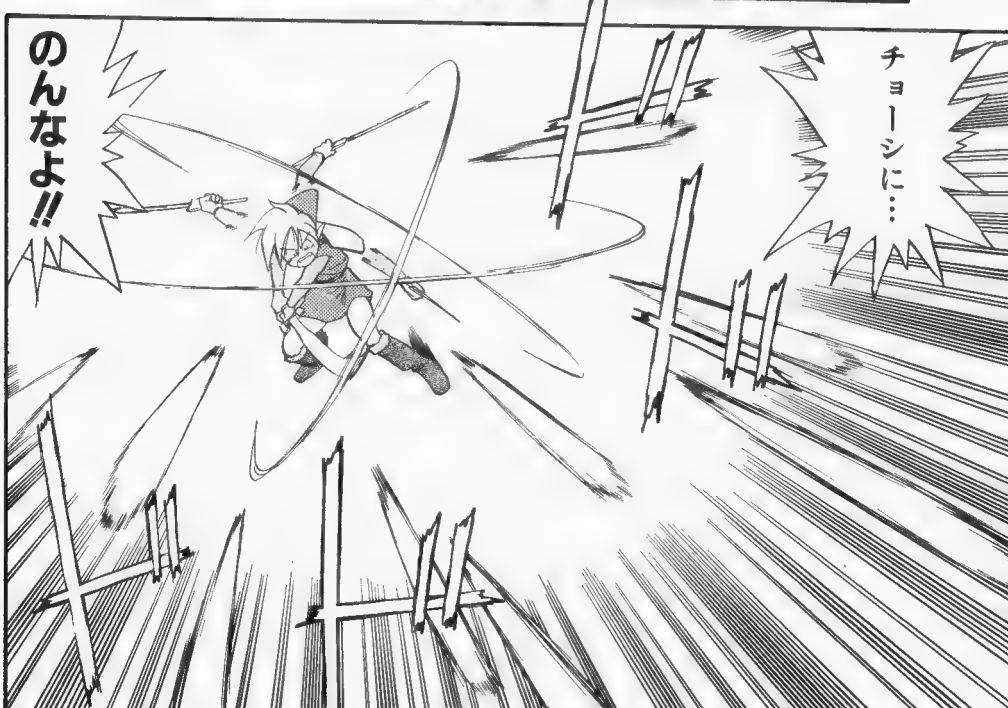
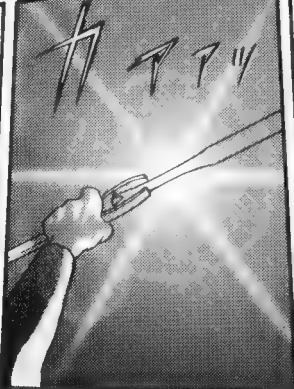
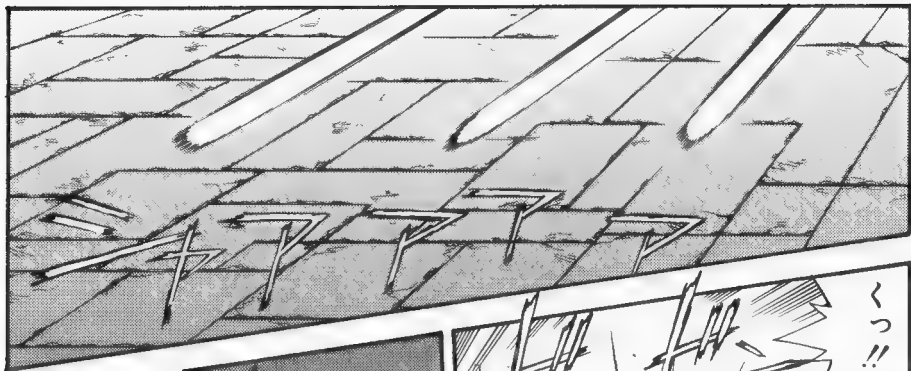
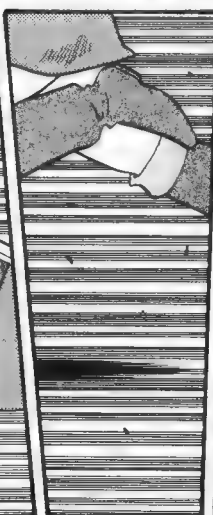
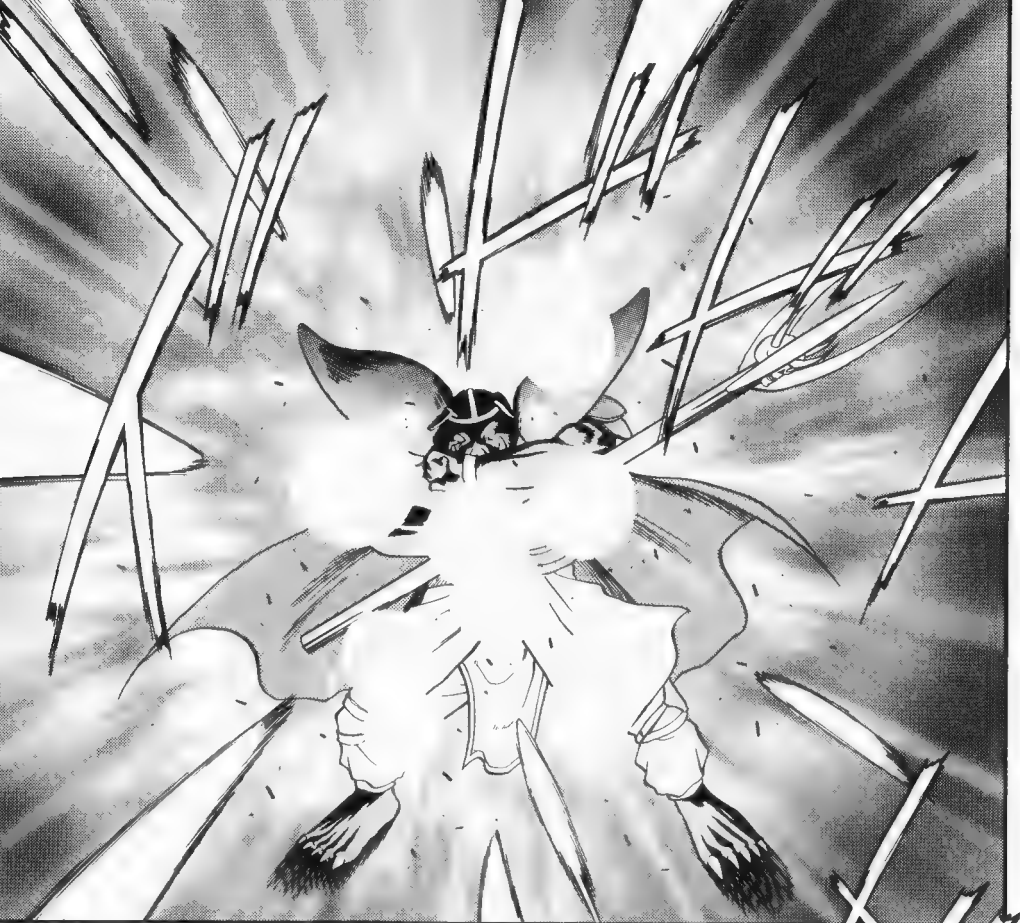
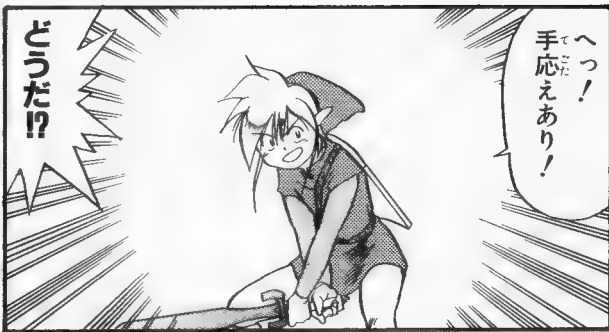
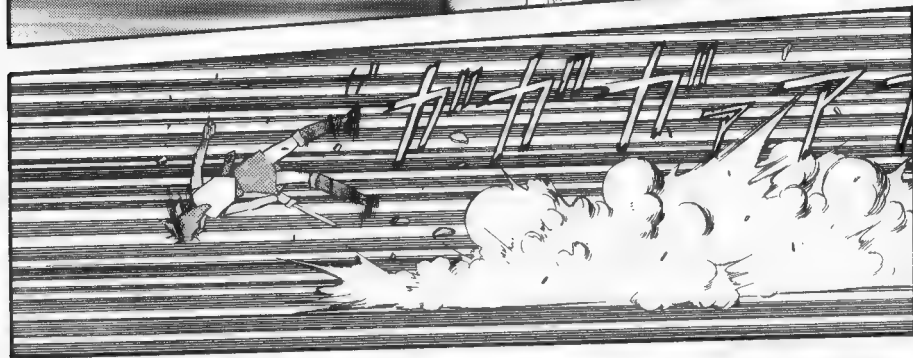
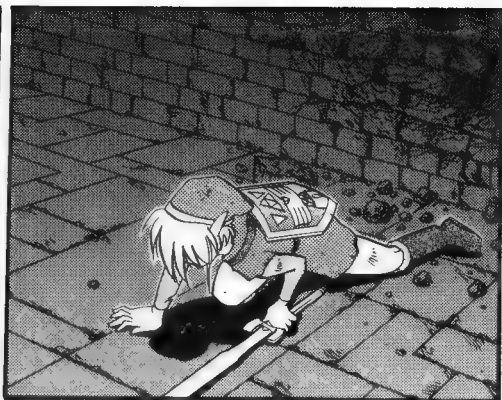
へっ！
手応えあり！
どうだ⁉

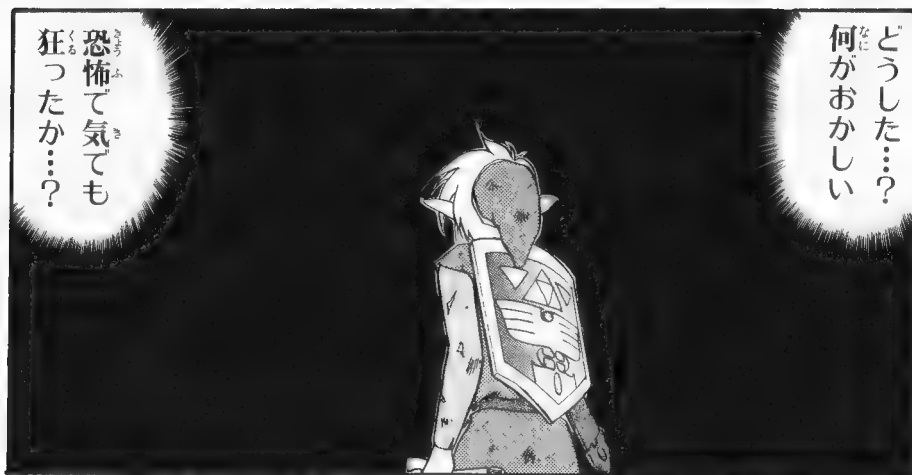
今のは
仲々良かったぞ
…が
どうやらここまでの
ようだな
ばっ

ばつ…
バカな‼
何もかも
通じねえじゃ
ねえか…‼

とはいえ貴様の言うこともっともだ
どんな技も当たらねば話にならん
な…なんだ!?
影…霧か…!?
シュオオ

貴様の機動力は少々やっかいだ
先代勇者に次いでこの技を600年振りに使ってやろう
オオオオ

がっ!!
ゴッ
ズガガガァァァ
ズダァァ

大したものだ まだ剣を放さんとはな…
だが それも いつまで もつかな？
ちっ！

やっかいだな… 気配まで完全に絶ってやがる…
ラスカなら敵の気勢を読んで位置の特定もできるんだろうけどな…

ラスカか… あいつなら こんな時なんて言うかな…
ケッ！ やっぱ おめーは インチキ勇者だぜ ひっこんでな！ オレがブッ倒してやる！

………
………

頑張るんだ リンク君！あきらめたら そこで戦いは負けだぞ！
剣は扱うものじゃない 共に戦う仲間だ！己と仲間を信じるんだ！
しっかりしてください リンクさん！あなたなら必ず勝てます！
気合いだ気合い――！ビビッたら負けよォ！

………
…へっ…

へへへ…
はっはっは…

どうした…？
何がおかしい
恐怖で気でも
狂ったか…？

ガノン！
やっぱり おまえは
絶対 俺には
勝てねえよ!!

ほう…
そいつは一体
なぜかな…？

そりゃあおまえが
一人ぼっちだからさ！

わからねえか…? いや わかんねえだろうなァ

みんな…

俺に力を!!

だからテメエは悪党だっつうんだよ!

シュガァァァァ

うっ…
こっ…この
光は…っ!!
うおおおお!!

すさまじい力の高まり……!!

これは……奴……!!

600年前のあ奴に勝るとも劣らぬ!!

最終話　新たな旅

この感じ…スゲエ!!
あとからあとから力がみなぎる…あふれ出る…!!

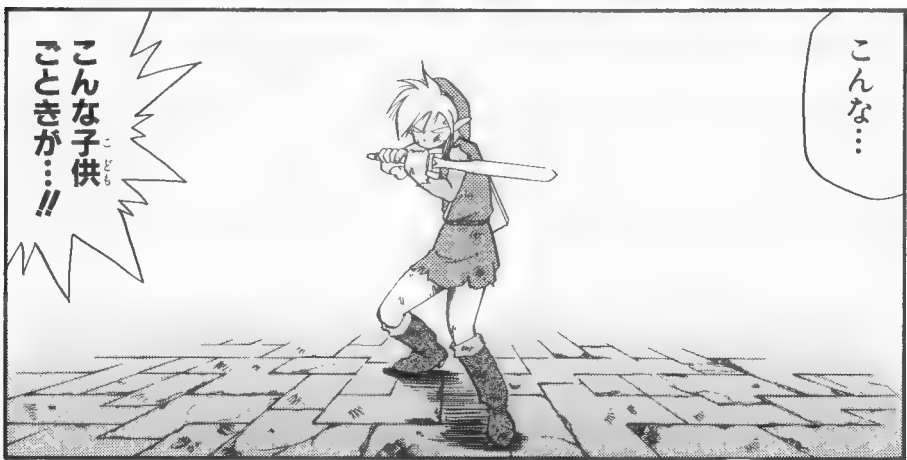
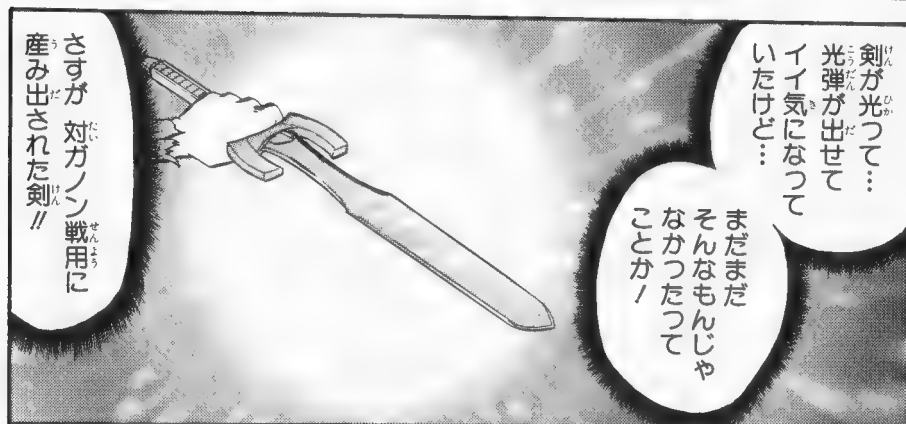
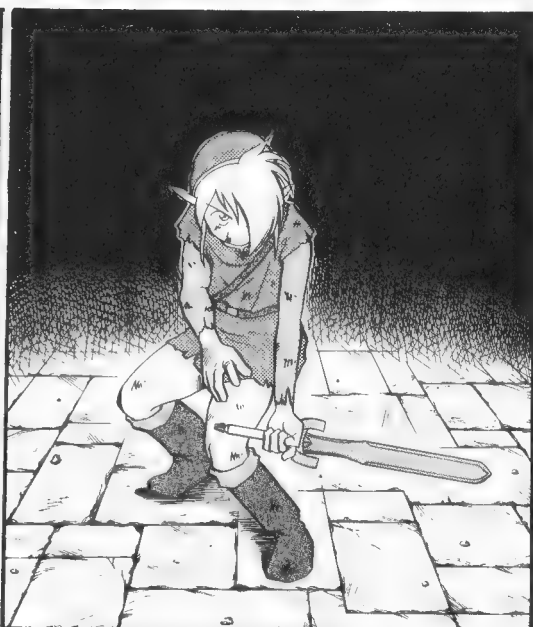
剣が光って…光弾が出せてイイ気になっていたけど…
まだまだそんなもんじゃなかったってことか!
さすが　対ガノン戦用に産み出された剣!!

よオ〜〜〜〜し…
ズバッ
いっけー—!!

な…!?

うおっ!?
ダンッ

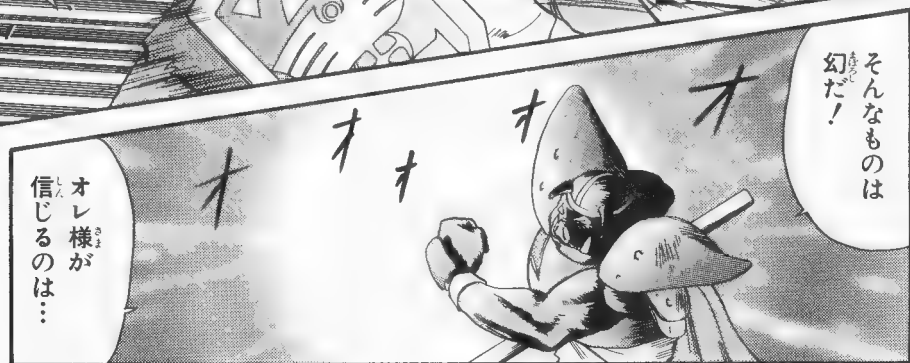
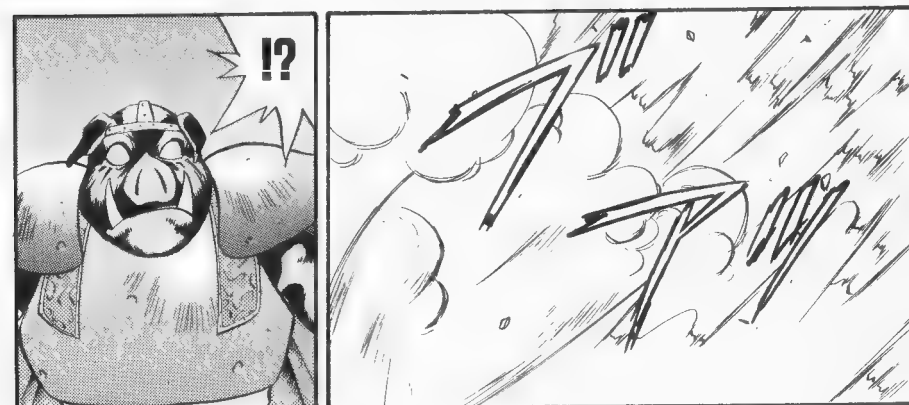
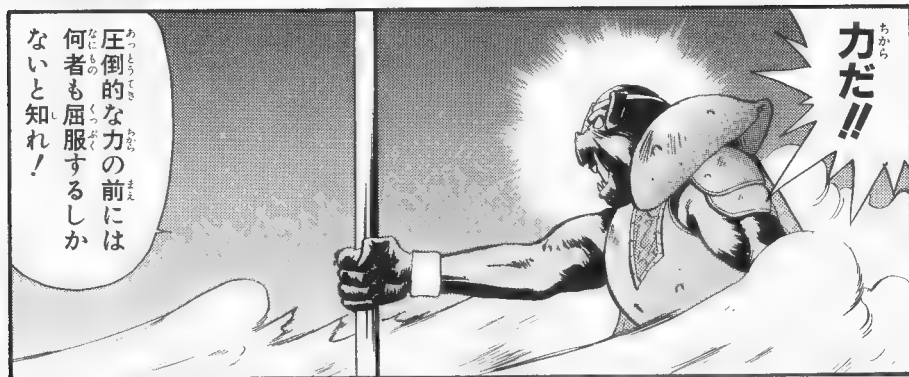
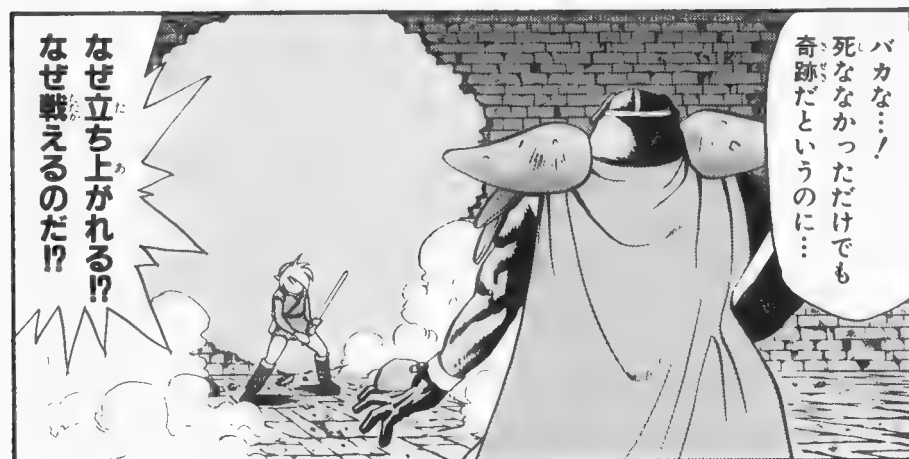
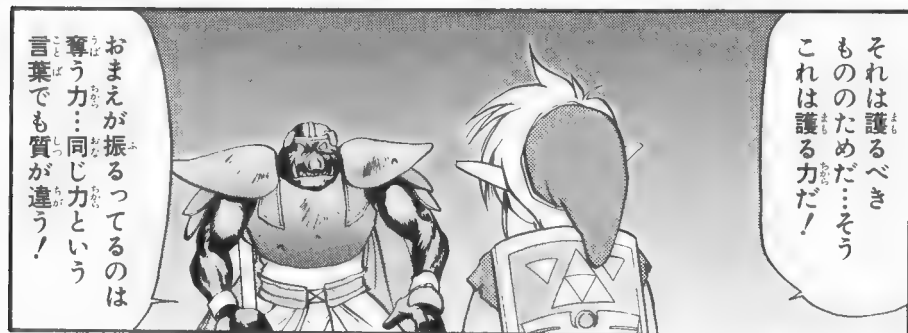
ヒュウウ ウゥ…

なぜだ!? オレ様の姿は見えぬハズ…!!
そして貴様の技量では この体に傷をつけることはできぬハズ…!!

当たり前だ！
マスターソードは
おまえを倒すために
産まれた剣！
どこにいたって
おまえの位置を俺に
教えてくれる！

そして おまえを
倒すために戦った
みんなの心が…
俺と剣に力を
力をくれる!!

もう一度言うぞ
ガノン!!
一人ぼっちのおまえに
俺を倒すこたぁ
できない!!

ふっ…
青臭い小僧が
ほざきおる…

ならば証明して
みせろ！
その力とやらで
オレ様を倒して
みせろ！

ヘドが出るわ!!

そんなものは幻だ！

オ オ オ オ オ

オレ様が信じるのは…

おオッ!!

力だ!!
圧倒的な力の前には
何者も屈服するしか
ないと知れ!

貴様のセリフは
一人では戦えぬ
弱者のざれ言に
すぎん!
ゴオオオオ
孤独では勝てぬだと…?
笑わせるな!
仲間だの心だの…
そんなものにすがったことを
あの世で後悔するがいい!

!?

言いたいことは…
それだけか!!

ばかな!!
アレをしのいだというのか!?

マスターソードが魔力に反応する剣って忘れちゃいねェか…?
ザッ
もっとも…はじき返すこたあできなかったがね…

そろそろ幕にしようや
ガノンさんよ

バカな…! 死ななかっただけでも奇跡だというのに…
なぜ立ち上がれる!? なぜ戦えるのだ!?

でっけえ後ろ盾があるからな…
ズイッ

ザッ
俺の言葉を弱者のざれ言と言ったな…
ザッ
けど俺はそれを支えに立ち上がるぜ…何度でも…何度でも！

それは護るべきもののためだ…そうこれは護る力だ！
おまえが振るってるのは奪う力…同じ力という言葉でも質が違う！

護る力と奪う力…
どっちが強いか試してみるか!?

おのれ〜〜〜……
まだ言うかーっ!!
導いてくれマスターソード!!
ただ一直線に!!

ガハアッ!!

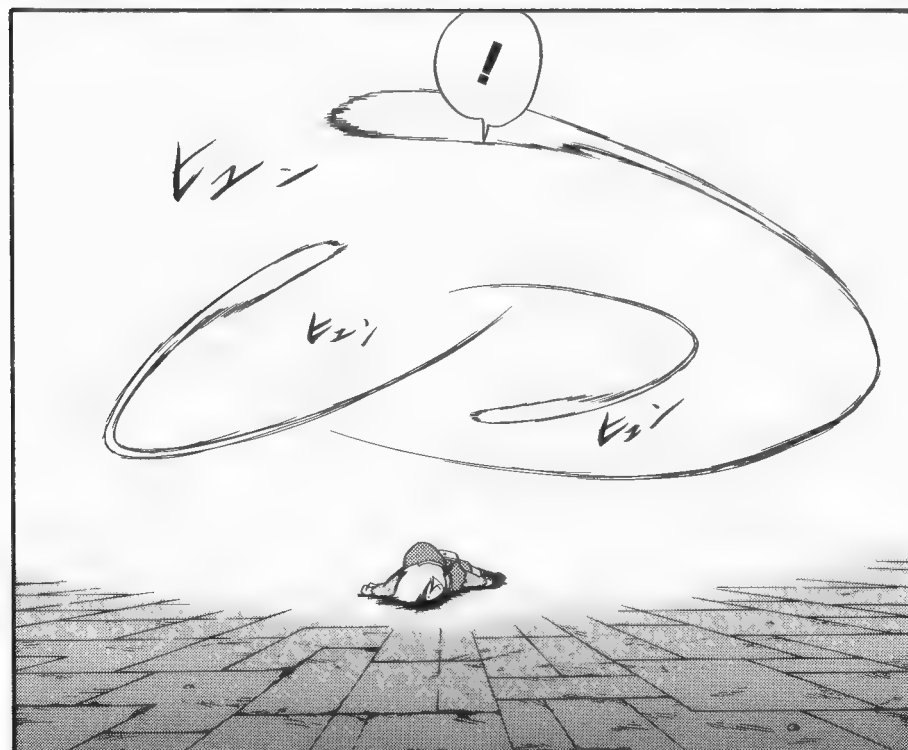
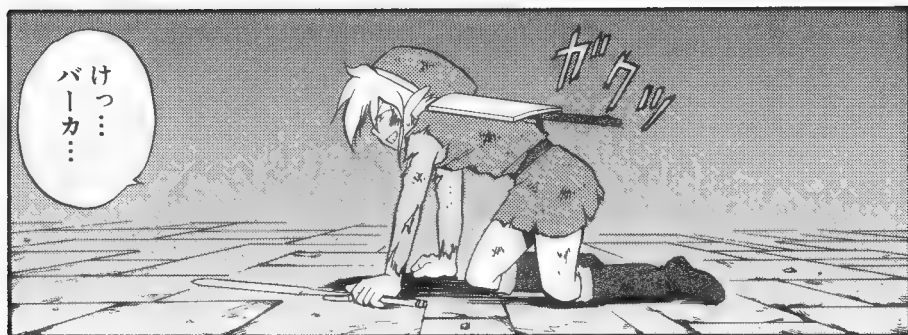
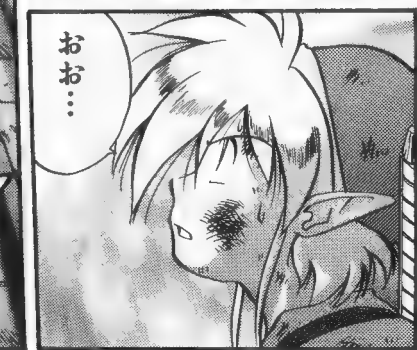
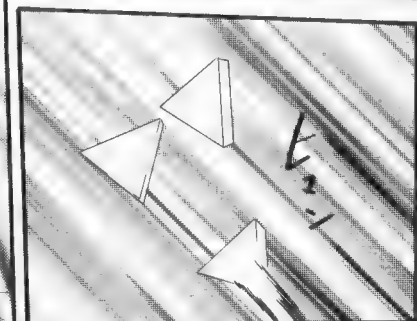
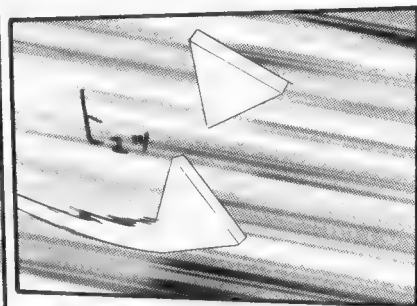
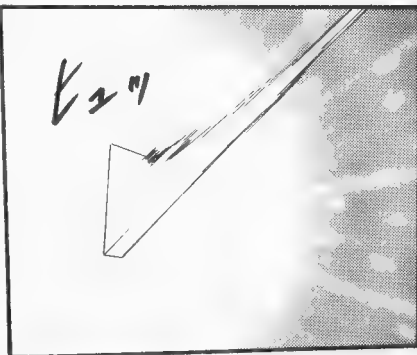
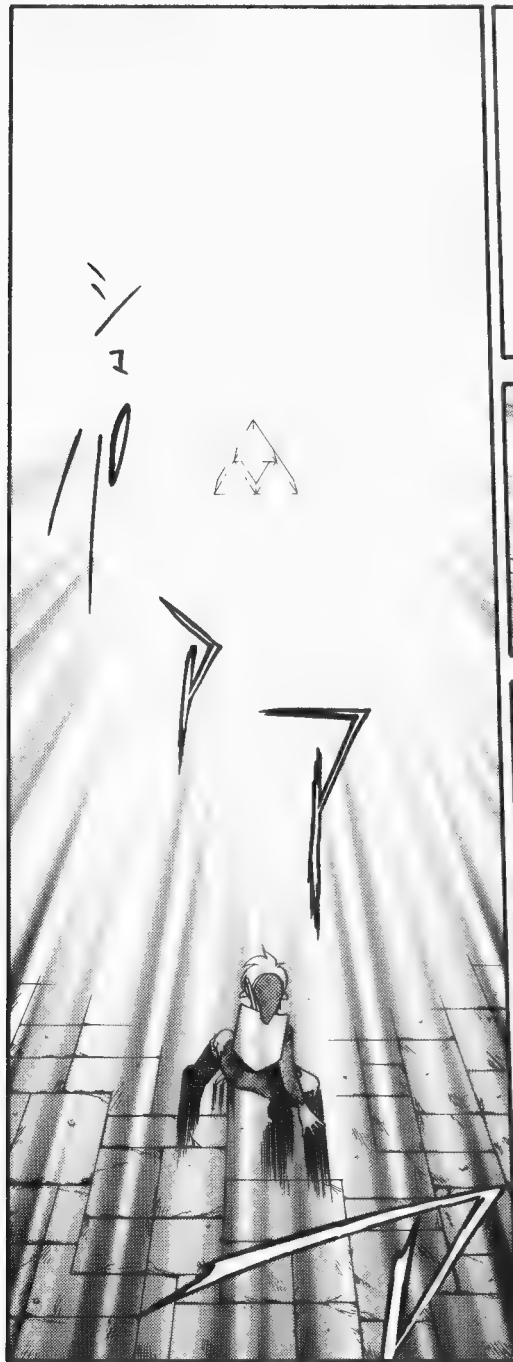
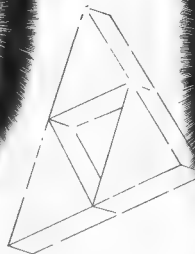
ウガオオオオオオッ

!

ヒュン

ヒュン

ヒュン

ヒュッ
シュパァァァ
ヒュッ
ヒュン
おお…

ようこそ少年…
私はトライフォースの
精です…
貴方が新しい
私の主ですね？

こ…これが
トライフォース…
黄金の
聖三角形…

トライフォースは
神が与えし黄金の力…
触れた者の心の中の
願いをかなえます
カノンの願い通り
聖地は闇の世界へと
姿を変えました

しかし…
ごらんなさい

!

ドドドドド

光…か？光に呑まれて…

闇の世界が消えていく…！

トライフォースは新たな主を待っています

黄金の力は貴方の手にあるのです

さあ触れてごらんなさい
貴方の心にある願いのままに…
俺の…
願い…

ポポン
ポン

花火か…
そろそろ式典が始まる頃かな？

救国英雄帰還記念式典…か
ラスカの親父さんとか飲んだくれてんだろうなァ…

救国の英雄…
英雄…か…

ガラじゃねえや…

迎えに来たよ
伯父さん…

やったよ伯父さん…
俺ハイラルを
護ったよ…
ガノンを
倒したよ！

見つけた
ぞぉ〜〜

へへっ…

ありがとう
マスターソード
おまえもまた
ここで ゆっくり
休みな…

確かに返しましたよ
ご先祖様…

ザ
アッ

さてと
行くか！

ったく…
式典スッポカして
何やってるかと
思やあ
やっぱり
こんなトコに
いやがったか

ラスカ…

あのな…
俺…
あーっ
わーかってるって
修行の旅にでも
出よーってんだろ？

およよ

今回ガノンに
勝てたのは
マスターソードの
おかげだってんだろ？
剣の力に頼る
剣士ってのも
カッコわりいしな
もっともな話だ

…よくわかって
らっしゃる
あんたの相方
長いから

相方…

式典も主役不在じゃそのうち騒ぎになるぜ
さっさと行っちまいいな

ああ
じゃあな

リンク!!

絶対だぜ…
絶対帰って来いよ!

あたりめェだァ
ハイラルは俺の故郷だもんな

掲載・月刊Gファンタジー平成7年10月号〜平成8年3月号

ゼルダの伝説〜神々のトライフォース〜③　おわり

かぢばあたるの

It's Easy Going

「夢島編」とあわせて、27ヶ月にもおよぶ「ゼル伝」とのつきあいも、これで終わりです。版権ものなど、全くやったことなかったんで、それなりに、内に外にと色々なことがありましたが、結果的に、自分にとって、やっぱりプラスになったんだろうな、と思うですよ。

ただ1つ残念なのは、やっぱり(?)「トライフォース編」は、「夢島編」を超えられなかったな、というコト。色々な見方はあるでしょうが個人的には、そう結論づけるしかないですね。様々な要素があるですが、やっぱ究極的には、力不足なんでしょうね。ちょっと暴走しすぎたかなあ。いやはや、申し訳ないっス。

さて、このコミックスが出るころ、僕は何をしてるんでしょうか…?

とにかく、永のおつきあいありがとうございました。
読者のみんな、担当さん、
そして、アシ諸君…。

ではまたいずれ…。

1996年2月某日

かぢば　あたる

ひそかに
人気者だった
カニカ…

なぜ?(笑)

PS ラストで旅立ったリンクは、その後修業の旅を終え、ハイラルに帰る途上で難破して、「夢島編」へと突入するって寸法だ。

GFC

1996年5月27日　初版発行

著者
かちばあたる

編集人
保坂嘉弘

発行人
千田幸信

発行所
株式会社エニックス
〒160 東京都新宿区西新宿7－5－25木村屋ビル
〈編集〉TEL03（3369）1957〈販売・営業〉TEL03（3369）8982FAX03（5330）3120

印刷所
大日本印刷株式会社

装幀
P. H. 2

ISBN4-87025-559-6 C9979
Printed in Japan

SUPER FAMICOM®

© Nintendo

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

3

かぢばあたる

かぢばあたる

いつの間にやら月日は流れ
巷はジルバ花吹雪
サンキューサンキュー有難う
永のつきあい重ねた君も
これでグッバイさよならさ

SUPER Famicom

ゼルダの伝説®

神々のトライフォース

3

かぢばあたる

ファンタジーコミックス

GFC
ゼルダの伝説
神々のトライフォース
3
かぢばあたる
ENIX

9784870255593
ISBN4-87025-559-6
C9979 P780E

1919979007806
雑誌 48070-60
定価780円(本体757円)

エニックス